

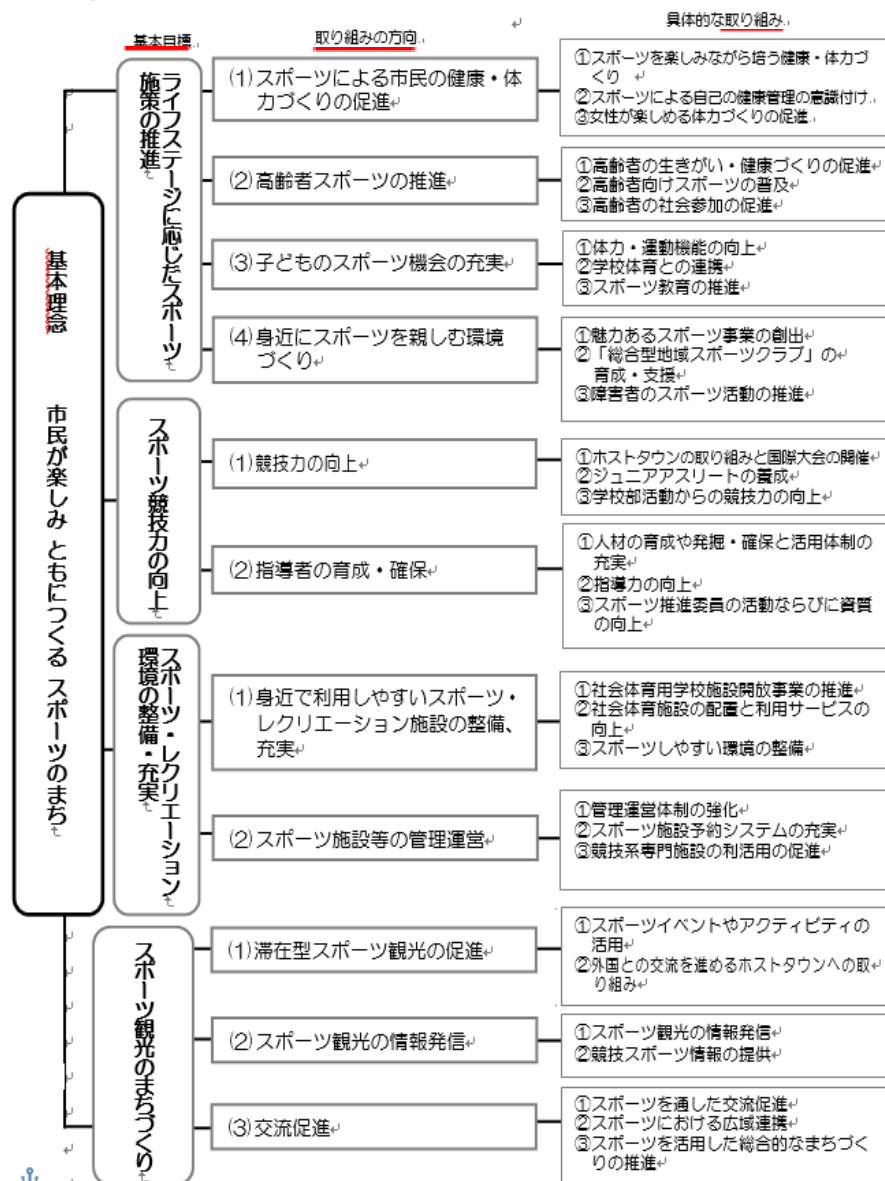
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
第3章 基本的な考え方 1. 基本理念 市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち 本市では、年齢や性別、障害の有無に関わらず、市民がいつでも、いつまでも、個々の状況に合わせて、運動やスポーツに親しむことができる「ライフステージに応じたスポーツ施策の推進」「スポーツ競技力の向上」「スポーツ・レクリエーション施設等の整備充実」「<u>スポーツを支える基盤の整備と交流の促進</u>」の実現を目指してきました。今後も子どもから高齢者まで、全ての市民が気軽にスポーツに関心を持ち、健康増進や生きがいにつなげ、スポーツを通じた市民の交流を促進することで活力あるまちを築いていきます。 <u>国の「第2期スポーツ基本計画」では、①スポーツで「人生」が変わる、②スポーツで「社会」を変える、③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」を創るという観点から「スポーツ参画人口」を拡大し、他分野との連携・協力することで「一億総スポーツ社会」の実現に取り組むとしています。</u> 本計画においても、未来を創る子どもから時代を歩んできた高齢者まで、ライフステージに応じたスポーツのあり方を考えるとともに、子どもの運動能力の底上げや高齢者の生きがいづくりと障害者スポーツの推進を図ります。さらに、本市の豊かな自然環境を活かしたスポーツ観光による新たな魅力を発信し、<u>2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたホストタウンや「ワールドマスタースゲームズ2021 関西」に取り組むことで、国際社会に向けた多面的なスポーツ施策の展開を図り、「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」を</u> <u>創造します。</u>	第3章 基本的な考え方 1. 基本理念 市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち 本市では、年齢や性別、障害の有無に関わらず、市民がいつでも、いつまでも、個々の状況に合わせて、運動やスポーツに親しむことができる「ライフステージに応じたスポーツ施策の推進」「スポーツ競技力の向上」「スポーツ・レクリエーション施設等の整備充実」「<u>スポーツ観光のまちづくり</u>」の実現を目指してきました。今後も子どもから高齢者まで、全ての市民が気軽にスポーツに関心を持ち、健康増進や生きがいにつなげ、スポーツを通じた市民の交流を促進することで活力あるまちを築いていきます。 本計画においても、未来を創る子どもから時代を歩んできた高齢者まで、ライフステージに応じたスポーツのあり方を考えるとともに、子どもの運動能力の底上げや高齢者の生きがいづくりと障害者スポーツの推進を図ります。さらに、本市の豊かな自然環境を活かした<u>スポーツの推進</u>、<u>「ワールドマスタースゲームズ2027 関西」に向けた取組など、国際社会に向けた多面的なスポーツ施策の展開も図りながら、「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」をコンセプトに、スポーツ施策を推進し、スポーツを通じて京丹後市のさらなる活性化を図ります。</u>	第2次京丹後市スポーツ推進計画 基本目標修正 国「第2期スポーツ基本計画」削除 2020 オリンピック・パラリンピック削除 ワールドマスタースゲームズ修正

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																								
2. 計画の目標 本計画では、「第2次京丹後市総合計画」の基本計画を踏まえ、「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」をコンセプトに、スポーツ施策を推進します。また、市民の誰もが、目的やライフステージに応じてスポーツに取り組むことができるスポーツ振興を目指すとともに、スポーツを通じて京丹後市のさらなる活性化を図ります。 (1) ライフステージに応じたスポーツ施策の推進 市民が、生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、市民の誰もが各々の年代や関心、適性等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図るとともに、スポーツ未実施者への働きかけを行い、「する」「みる」「ささえる」スポーツの楽しみ方や関わり方などをわかりやすく提案します。さらに、今後のスポーツ活動の推進にあたり、子どもたちに対する多様なスポーツの実施機会の提供のほか、子どもの間にスポーツや遊びに関わる時間を増やし、底辺の拡充を図るなど、スポーツに対する関心を高めるとともに、スポーツに取り組む環境を充実させるなど、子どもがスポーツを楽しむための基盤をつくります。 (2) スポーツ競技力の向上 2020年オリンピック・パラリンピックのホストタウン及び「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」に積極的に関わることで、国際交流と競技力の向上を目指します。また、スポーツを行う人のレベルや目的に合わせた適切な指導ができるよう、スポーツ指導者に対する研修会や講習会を開催し、スポーツ指導者の人材育成を図るなど、競技者と指導者、双方の育成を図りま	2. 計画の目標 <table><tr><th colspan="2">基 本 目 標</th><th>策定時【平成28年度】</th><th>現状【令和4年度】</th><th>目標【令和9年度】</th></tr><tr><td>1</td><td>成人の週1回以上のスポーツ実施率</td><td>(33.0) %</td><td>49.7%</td><td>65.0%</td></tr><tr><td>2</td><td>青少年スポーツ教室参加率</td><td>—</td><td>35.3%</td><td>45.0%</td></tr><tr><td>3</td><td>世界大会・全国大会出場者数</td><td>62 人</td><td>49 人</td><td>65 人</td></tr><tr><td>4</td><td>京都府民総合体育大会入賞競技数</td><td>8 競技</td><td>6 競技</td><td>10 競技</td></tr><tr><td>5</td><td>京丹後市総合スポーツ大会参加者数</td><td>1,762 人</td><td>1,304 人</td><td>1,400 人</td></tr><tr><td>6</td><td>公共スポーツ施設の利用回数</td><td>12,419 回</td><td>15,407 回</td><td>16,000 回</td></tr><tr><td>7</td><td>スポーツイベント参加者数</td><td>13,661 人</td><td>8,014 人</td><td>20,000 人</td></tr></table> 3. 基本方針と基本施策 基本理念である「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」を実現するための4つの基本方針と、基本方針を実現するための基本施策を定めます。 <基本方針1> ライフステージに応じたスポーツ施策の推進 〔基本施策〕 (1) スポーツによる市民の健康・体力づくりを促進します (2) 高齢者スポーツを推進します (3) 子どものスポーツ機会の充実を図ります (4) 身近にスポーツを親しむ環境づくりを推進します <基本方針2> スポーツ競技力の向上 〔基本施策〕 (1) 競技力の向上を図ります (2) 指導者の育成・確保を推進します	基 本 目 標		策定時【平成28年度】	現状【令和4年度】	目標【令和9年度】	1	成人の週1回以上のスポーツ実施率	(33.0) %	49.7%	65.0%	2	青少年スポーツ教室参加率	—	35.3%	45.0%	3	世界大会・全国大会出場者数	62 人	49 人	65 人	4	京都府民総合体育大会入賞競技数	8 競技	6 競技	10 競技	5	京丹後市総合スポーツ大会参加者数	1,762 人	1,304 人	1,400 人	6	公共スポーツ施設の利用回数	12,419 回	15,407 回	16,000 回	7	スポーツイベント参加者数	13,661 人	8,014 人	20,000 人	計画の目標を追記
基 本 目 標		策定時【平成28年度】	現状【令和4年度】	目標【令和9年度】																																						
1	成人の週1回以上のスポーツ実施率	(33.0) %	49.7%	65.0%																																						
2	青少年スポーツ教室参加率	—	35.3%	45.0%																																						
3	世界大会・全国大会出場者数	62 人	49 人	65 人																																						
4	京都府民総合体育大会入賞競技数	8 競技	6 競技	10 競技																																						
5	京丹後市総合スポーツ大会参加者数	1,762 人	1,304 人	1,400 人																																						
6	公共スポーツ施設の利用回数	12,419 回	15,407 回	16,000 回																																						
7	スポーツイベント参加者数	13,661 人	8,014 人	20,000 人																																						

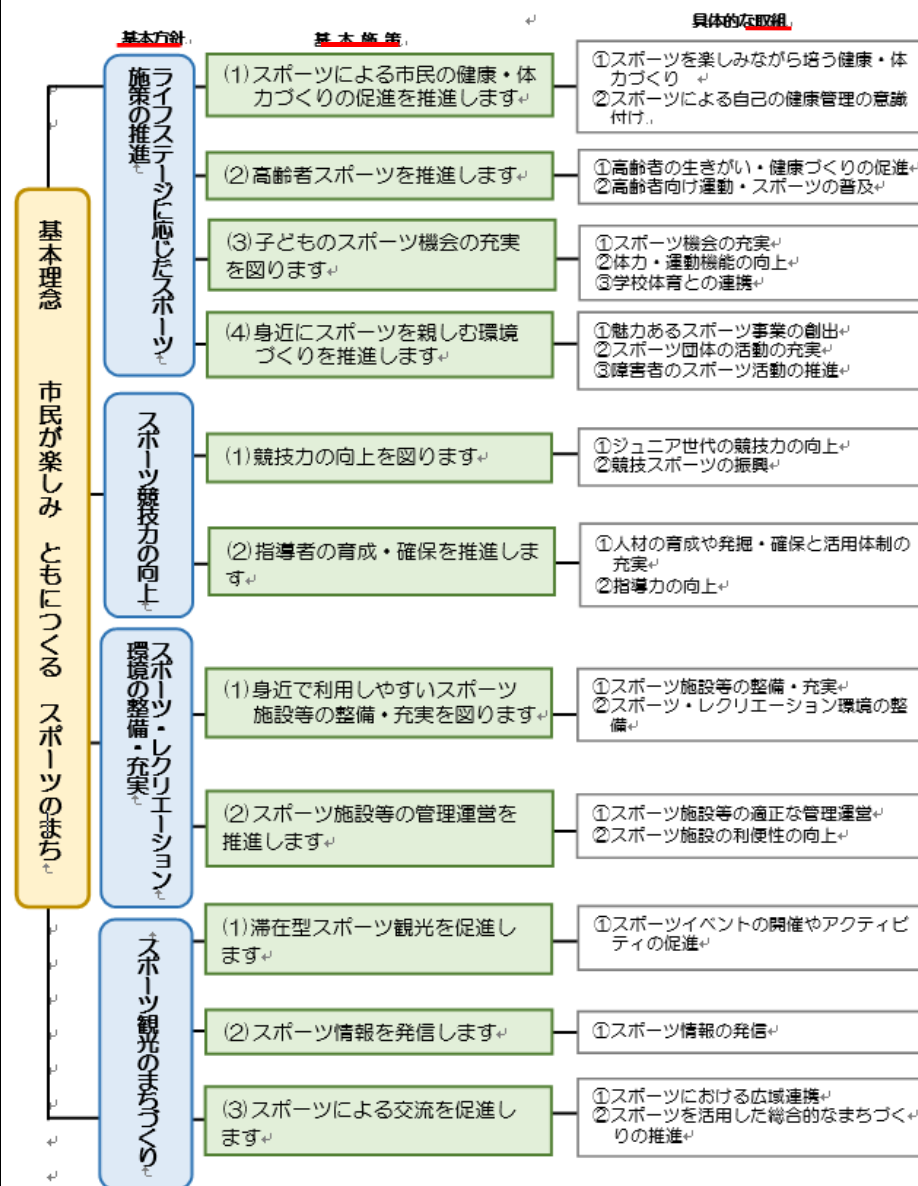
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
す。 （3）スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実 <u>スポーツ活動を実践していくためには、安全で利用しやすいスポーツ施設が身近に充実していることが大切です。今後も市民のスポーツ・レクリエーション活動の場としてのスポーツ施設が果たすべき役割を再認識し、施設や設備の点検・整備を行うとともに、ニーズに応じた施設の改修について検討を行うなど、市民がスポーツに親しみやすい環境を整備します。また、既設のスポーツ施設の利活用について、利用者等の意見を反映させた整備計画を立案し、効果的な利用が図れるよう取り組みます。</u> （4）スポーツ観光のまちづくり <u>スポーツは人と人、地域と地域の交流を促進し、地域の一体感や活力を醸成し、健康で活力に満ちた長寿社会の実現には必要不可欠な要素です。今後、広域的に行政と関係団体が連携を図りながら、本市の地形、自然等を活かした各種スポーツイベントの実施や2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えたホストタウン及び「ワールドマスタースゲームズ2021 関西」などの国際大会の開催、ジオパークの魅力を活かしたアクティビティの場や機会を提供することで、スポーツと観光の連携をより深めたまちづくりを進めます。</u>	＜基本方針3＞ スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実 <u>〔基本施策〕</u> <u>（1）身近で利用しやすいスポーツ施設等の整備・充実を図ります</u> <u>（2）スポーツ施設等の管理運営を推進します</u> ＜基本方針4＞ スポーツ観光のまちづくり <u>〔基本施策〕</u> <u>（1）滞在型スポーツ観光を促進します</u> <u>（2）スポーツ情報を発信します</u> <u>（3）スポーツによる交流を促進します</u>	

3. 施策体系

本計画では3つの柱を基本目標として継続し、今回新たに「スポーツ観光のまちづくり」を基本目標に掲げ、「市民が楽しみ ともにつくる スポーツのまち」の創設を目指します。



4. 施策体系



施策体系

「基本目標」を「基本方針」、「取り組みの方向」を「基本施策」に変更

現 行（第2次計画）				改正案（第2次計画見直し）				変更理由等
4. 施策の展開				5. 具体的な取組				
基本目標 1		ライフステージに応じたスポーツ施策の推進		基本方針 1		ライフステージ※に応じたスポーツ施策の推進		
◇数値目標◇				◇基本目標◇				
指標項目		単位	現状値 (H28)	基 本 目 標		現状値（R 4）	最終目標値（R 9）	現状値 R 4 に修正
成人の週 1 回以上のスポーツ実施率		%	40.9	1	成人の週 1 回以上のスポーツ実施率	4 9 . 7 %	6 5 . 0 %	基本目標：2 青少年スポーツ教室参加率を追加
【指標内容】：市民アンケート調査結果から設定。国の目標は 65.0%。				2	青少年スポーツ教室参加率	3 5 . 3 %	4 5 . 0 %	
_____（1）スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進_____				基本施策（1）スポーツによる市民の健康・体力づくりを促進します				基本施策について、「～します」の表現に変更
施策名 _____		①スポーツを楽しみながら培う健康・体力づくり		具体的な取組 _____		①スポーツを楽しみながら培う健康・体力づくり		地域をわかりやすく表記
◇市民が、心身ともに健康で豊かな日常生活を送るために、日頃からスポーツに親しむことは重要な要素であると考えられます。このため、市民が身近な地域でスポーツに親しみ、健康づくりへの関心を高めるような取り組みとして、市民のニーズが高かったウォーキングを中心に、気軽に親しめるスポーツを推進していきます。				◇市民が身近な地域、地区、「新たな地域コミュニティ」、その他団体等（以下、「地域等」という。）において、スポーツに親しみ、健康づくりへの関心を高めるため、スポーツ推進委員が、年間を通じて「ノルディックウォーキング」や「ニュースポーツ」などスポーツの機会を提供し、スポーツ活動に取り組みます。				
◇ウォーキングよりも更に運動効率の高いノルディック・ウォーキングの普及推進に努めます。				◇気軽に親しめるスポーツ（ウォーキング、体操など）を推進していきます。				
_____				_____				
_____				◇地域等において、生涯を通じてスポーツとの楽しい出会いの「場づくり」を提供するなど、たくさんの運動・スポーツに触れ合う機会や運動・スポーツをするきっかけづくりに取り組みます。				「場づくり」の提供を追記
_____				_____				
施策名 _____		②スポーツによる自己の健康管理の意識付け		具体的な取組 _____		②スポーツによる自己の健康管理の意識付け		「スポーツ」のみのイメージにならないために、「運動・スポーツ」と変更
◇_____スポーツによる事故や怪我を未然に防止するために、まず自分の健康状態や運動能力を事前に把握することが重要であり、自己の健康管理意識の高揚を図ります。				◇運動・スポーツによる事故や怪我を未然に防止するために、まず自分の健康状態や運動能力を事前に把握することが重要であり、自己の健康管理意識の高揚を図ります。				
◇新体力テストは、自己の体力年齢を知る機会として有効な手段であることから、社会人の新体力テストの実施を全市的な取り組みとして進めます。				◇新体力テストは、自己の体力年齢を知る機会として有効な手段であることから、社会人の新体力テストの実施を全市的な取組として進めます。				
◇_____スポーツは誰もが取り組めるものというイメージを共有し、ノルディック・ウォーキング等のイベントを定期的に開催して、個人の体力や生活のリズムに合わせ気軽に取り組める_____スポーツの普及啓発を行います。				◇運動・スポーツは誰もが取り組めるものというイメージを共有し、_____ウォーキング等のイベントを定期的に開催して、個人の体力や生活のリズムに合わせ気軽に取り組める運動・スポーツの普及啓発に取り組みます。				
_____				_____				
施策名 _____		③女性が楽しめる体力づくりの促進		<削除>				女性限定とならないように削除
◇子育て世代の母親に運動を行う機会が少ないため、親子で一緒に楽しめる、ニュースポーツ								

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																		
を通じて、女性の体力づくりを推進します。 ◇家庭教育支援チームが取り組む事業に、スポーツ推進委員が積極的に関わり、体力づくりの促進を図ります。	<削除>	③高齢者の社会参加の促進を、①に統合																		
（2）高齢者スポーツの推進	基本施策（2） 高齢者スポーツを推進します																			
<table><tr><td>施策名</td><td>①高齢者の生きがい・健康づくりの促進</td></tr><tr><td colspan="2">◇高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業にスポーツ推進委員も積極的に関わり、高齢者の生きがいづくりと健康寿命を伸ばす取り組みを進めます。</td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td></tr></table>	施策名		①高齢者の生きがい・健康づくりの促進	◇高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業にスポーツ推進委員も積極的に関わり、高齢者の生きがいづくりと健康寿命を伸ばす取り組みを進めます。								<table><tr><td>具体的な取組</td><td>①高齢者の生きがい・健康づくりの促進</td></tr><tr><td colspan="2">◇高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業にスポーツ推進委員も積極的に関わり、高齢者の生きがいづくりと健康寿命を伸ばす取り組みを進めます。</td></tr><tr><td colspan="2">◇運動・スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けの運動・スポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。</td></tr><tr><td colspan="2">◇一人で楽しみ、体を動かすだけでなく、たくさんの仲間と競い合い、助け合って続けられる魅力ある運動・スポーツの提案を行います。</td></tr></table>	具体的な取組	①高齢者の生きがい・健康づくりの促進	◇高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業にスポーツ推進委員も積極的に関わり、高齢者の生きがいづくりと健康寿命を伸ばす取り組みを進めます。		◇運動・スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けの運動・スポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。		◇一人で楽しみ、体を動かすだけでなく、たくさんの仲間と競い合い、助け合って続けられる魅力ある運動・スポーツの提案を行います。	
施策名	①高齢者の生きがい・健康づくりの促進																			
◇高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業にスポーツ推進委員も積極的に関わり、高齢者の生きがいづくりと健康寿命を伸ばす取り組みを進めます。																				
具体的な取組	①高齢者の生きがい・健康づくりの促進																			
◇高齢化が進む今日、高齢者のスポーツ活動は、健康の保持・増進だけでなく、孤立を防ぐとともに、生きがい対策としても重要な役割があります。このため、高齢者を対象とした事業にスポーツ推進委員も積極的に関わり、高齢者の生きがいづくりと健康寿命を伸ばす取り組みを進めます。																				
◇運動・スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けの運動・スポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。																				
◇一人で楽しみ、体を動かすだけでなく、たくさんの仲間と競い合い、助け合って続けられる魅力ある運動・スポーツの提案を行います。																				
<table><tr><td>施策名</td><td>②高齢者向け スポーツの普及</td></tr><tr><td colspan="2">◇いくつになっても元気に動ける体づくりを目標に、各地区で健康体操及び介護予防体操を実施することで、高齢者の健康保持増進だけでなく、交流や生きがいづくりを推進します。</td></tr><tr><td colspan="2">◇高齢者が取り組みたい スポーツで、ウォーキングの要望が高いことから、介護予防としても効果が見込めるため、個人はもとより集団でも楽しめる高齢者向けの スポーツとして、ノルディック・ウォーキングを推進します。</td></tr></table>	施策名	②高齢者向け スポーツの普及	◇いくつになっても元気に動ける体づくりを目標に、各地区で健康体操及び介護予防体操を実施することで、高齢者の健康保持増進だけでなく、交流や生きがいづくりを推進します。		◇高齢者が取り組みたい スポーツで、ウォーキングの要望が高いことから、介護予防としても効果が見込めるため、個人はもとより集団でも楽しめる高齢者向けの スポーツとして、ノルディック・ウォーキングを推進します。		<table><tr><td>具体的な取組</td><td>②高齢者向け運動・スポーツの普及</td></tr><tr><td colspan="2">◇いくつになっても元気に動ける体づくりを目標に、地域等で健康体操及び介護予防体操を実施することで、高齢者の健康保持増進だけでなく、交流や生きがいづくりを推進します。</td></tr><tr><td colspan="2">◇高齢者が取り組みたい運動・スポーツで、ウォーキングの要望が高いことから、介護予防としても効果が見込めるため、個人はもとより集団でも楽しめる高齢者向けの運動・スポーツとして、ノルディックウォーキングを推進します。</td></tr></table>	具体的な取組	②高齢者向け運動・スポーツの普及	◇いくつになっても元気に動ける体づくりを目標に、地域等で健康体操及び介護予防体操を実施することで、高齢者の健康保持増進だけでなく、交流や生きがいづくりを推進します。		◇高齢者が取り組みたい運動・スポーツで、ウォーキングの要望が高いことから、介護予防としても効果が見込めるため、個人はもとより集団でも楽しめる高齢者向けの運動・スポーツとして、ノルディックウォーキングを推進します。		「スポーツ」のみのイメージにならないために、「運動・スポーツ」と変更						
施策名	②高齢者向け スポーツの普及																			
◇いくつになっても元気に動ける体づくりを目標に、各地区で健康体操及び介護予防体操を実施することで、高齢者の健康保持増進だけでなく、交流や生きがいづくりを推進します。																				
◇高齢者が取り組みたい スポーツで、ウォーキングの要望が高いことから、介護予防としても効果が見込めるため、個人はもとより集団でも楽しめる高齢者向けの スポーツとして、ノルディック・ウォーキングを推進します。																				
具体的な取組	②高齢者向け運動・スポーツの普及																			
◇いくつになっても元気に動ける体づくりを目標に、地域等で健康体操及び介護予防体操を実施することで、高齢者の健康保持増進だけでなく、交流や生きがいづくりを推進します。																				
◇高齢者が取り組みたい運動・スポーツで、ウォーキングの要望が高いことから、介護予防としても効果が見込めるため、個人はもとより集団でも楽しめる高齢者向けの運動・スポーツとして、ノルディックウォーキングを推進します。																				
<table><tr><td>施策名</td><td>③高齢者の社会参加の促進</td></tr><tr><td colspan="2">◇スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けのスポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。</td></tr><tr><td colspan="2">◇一人で楽しみ、体を動かすだけでなく、たくさんの仲間と競い合い、助け合って続けられる魅力あるスポーツの提案を行います。</td></tr></table>	施策名	③高齢者の社会参加の促進	◇スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けのスポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。		◇一人で楽しみ、体を動かすだけでなく、たくさんの仲間と競い合い、助け合って続けられる魅力あるスポーツの提案を行います。		<削除>													
施策名	③高齢者の社会参加の促進																			
◇スポーツが高齢者の健康増進や生きがいづくりに大きな役割を果たすことから、高齢者向けのスポーツを普及させるとともに、ボランティアへの参加や大会の応援など、スポーツ活動を通じた社会参加の機会を提供します。																				
◇一人で楽しみ、体を動かすだけでなく、たくさんの仲間と競い合い、助け合って続けられる魅力あるスポーツの提案を行います。																				

現 行（第2次計画）		改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
（3）子どものスポーツ機会の充実		基本施策（3）子どものスポーツ機会の充実を図ります	
	①	具体的な取組 ①スポーツ機会の充実 ◇スポーツ活動を通じ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育てるため、放課後や地域等における子どものスポーツ機会の充実に取り組みます。	①スポーツの機会の充実を追記
施策名	①体力・運動機能の向上	具体的な取組 ②体力・運動機能の向上 ◇ 体力テスト等調査の実施により、児童生徒の体力の実態を客観的に把握し、継続的な体力向上の取り組みを進めるとともに、運動・スポーツに苦手意識のある子どもでも気軽に参加できるイベント・大会等を開催します。 ◇子どもがスポーツに取り組む環境の強化を図るため、市内の各スポーツ教室を京丹後市スポーツ少年団として組織化しました。今後は、地域・家庭・学校の協力を得ながら、京丹後市スポーツ少年団が連携をより一層強化することで、スポーツに親しむ環境を構築し、楽しさを感じさせる子どもスポーツの推進を図ります。	時点修正
施策名	②学校体育との連携	具体的な取組 ③学校体育との連携 ◇学校における体育活動を通じ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する資質・能力を育てるとともに、放課後や地域における子どものスポーツ機会の充実に取り組みます。 ◇運動の日常化を図る取り組みを推進するとともに、体育授業はもとより学校行事等においても、子どもたちの体力、運動能力の向上につながる取り組みを推進し、学校・地域・児童生徒・保護者等が協力してスポーツを実施できるよう支援を図ります。 ◇運動の日常化を図る取組を推進するとともに、体育授業はもとより学校行事等においても、子どもたちの体力、運動能力の向上につながる取組を推進し、学校・地域・児童生徒・保護者等が協力してスポーツを実施できるよう支援を図ります。 ◇少子化に伴い、各中学校において部活動種目が減少していく中、子どもたちのスポーツ環境の充実を図るため、土日の地域移行の検討及び推進を図ります。	スポーツ機会の充実を①と結合
施策名	③スポーツ教育の推進	<削除>	部活動の地域移行を追記
	◇運動部活動が、学校教育の一環として、子どもがスポーツに親しみ、子どもの責任感や連帯感を養う上で重要な活動として教育的意義が高いことを踏まえ、スポーツ少年団等が行っている活動との連携を図り、スポーツを通じた青少年の健全育成を推進し、スポーツ・運動に親しむ機会の充実に取り組みます。 ◇医療機関やスポーツ団体等と連携し、過重な運動による事故や障害を防止するための検診や学習機会の提供に努めます。		③スポーツ教育の推進を削除

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																								
（４）身近にスポーツを親しむ環境づくり <table><tr><td>施策名</td><td>①魅力あるスポーツ事業の創出</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇成人の週 1 回以上のスポーツ実施率の向上を目指す本市において、市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要です。このため、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツとして、ノルディック・ウォーキングのイベントを実施するなど、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をし、魅力ある事業内容を展開することで生涯にわたって継続したスポーツ活動を促進します。 ◇スポーツへの関心が高まるよう、「見るスポーツ」の魅力が伝えられるスポーツイベントや競技会等の開催を目指します。 </td></tr></table> <table><tr><td>施策名</td><td>②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇市民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みを担っている「総合型地域スポーツクラブ」が、地域スポーツの担い手として、継続して役割を果たせるよう活動内容の充実を図り、総合型地域スポーツクラブの自立的な運営につながるよう支援を行います。 ◇「総合型地域スポーツクラブ」の広報・啓発に努め、スポーツを通じたまちづくりが展開されるよう、地域コミュニティの醸成や活力あるクラブの育成・支援を行います。 </td></tr></table> <table><tr><td>施策名</td><td>③障害者のスポーツ活動の推進</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇障害者をはじめ配慮が必要な様々な方がスポーツを通じて社会参画できることが、共生社会の実現に向けて求められています。このため、障害者と健常者が一緒になって楽しめるようなニュースポーツの普及推進に努めます。 ◇障害者に対するスポーツ指導者を充実させるため、スポーツ推進委員会を中心に指導者の育成を図ります。 ◇障害者が、障害の種類や程度、さらにはライフステージに応じて、身近な地域で皆と一緒に日常的にスポーツを楽しめる「生涯スポーツ」の環境整備について検討していきます。 </td></tr></table>	施策名	①魅力あるスポーツ事業の創出	◇成人の週 1 回以上のスポーツ実施率の向上を目指す本市において、市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要です。このため、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツとして、ノルディック・ウォーキングのイベントを実施するなど、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をし、魅力ある事業内容を展開することで生涯にわたって継続したスポーツ活動を促進します。 ◇スポーツへの関心が高まるよう、「見るスポーツ」の魅力が伝えられるスポーツイベントや競技会等の開催を目指します。		施策名	②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援	◇市民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みを担っている「総合型地域スポーツクラブ」が、地域スポーツの担い手として、継続して役割を果たせるよう活動内容の充実を図り、総合型地域スポーツクラブの自立的な運営につながるよう支援を行います。 ◇「総合型地域スポーツクラブ」の広報・啓発に努め、スポーツを通じたまちづくりが展開されるよう、地域コミュニティの醸成や活力あるクラブの育成・支援を行います。		施策名	③障害者のスポーツ活動の推進	◇障害者をはじめ配慮が必要な様々な方がスポーツを通じて社会参画できることが、共生社会の実現に向けて求められています。このため、障害者と健常者が一緒になって楽しめるようなニュースポーツの普及推進に努めます。 ◇障害者に対するスポーツ指導者を充実させるため、スポーツ推進委員会を中心に指導者の育成を図ります。 ◇障害者が、障害の種類や程度、さらにはライフステージに応じて、身近な地域で皆と一緒に日常的にスポーツを楽しめる「生涯スポーツ」の環境整備について検討していきます。		基本施策（４） 身近にスポーツを親しむ環境づくりを推進します <table><tr><td>具体的な取組</td><td>①魅力あるスポーツ事業の創出</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要であり、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツを実施し、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をするとともに、「見るスポーツ」の魅力が伝えられるスポーツイベントや競技会等の開催に取り組みます。 </td></tr></table> <table><tr><td>具体的な取組</td><td>②スポーツ団体の活動の充実</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇地域スポーツ振興の中心となる組織である市スポーツ協会が中心となり、地域スポーツ振興に取り組めます。 ◇市民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みを担っている「総合型地域スポーツクラブ」が、継続して役割を果たせるように、活動の充実や自立的な運営につながるよう育成・支援を行ないます。 ◇青少年の心身の健全育成の推進を目的とした市青少年スポーツ協会の活動を推進します。 </td></tr></table> <table><tr><td>具体的な取組</td><td>③障害者のスポーツ活動の推進</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇障害のある人をはじめ配慮が必要な様々な方がスポーツを通じて社会参画できることが、共生社会の実現に向けて求められています。このため、誰もが楽しめるニュースポーツの普及推進に取り組めます。 ◇障害のある人に対するスポーツ指導者を充実させるため、スポーツ推進委員会を中心に指導者の育成に取り組めます。 ◇障害のある人も、楽しくスポーツに親しむことのできる環境の整備や障害者スポーツへの理解を深めるため障害者関係団体等との連携を図ります。 </td></tr></table>	具体的な取組	①魅力あるスポーツ事業の創出	◇市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要であり、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツを実施し、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をするとともに、「見るスポーツ」の魅力が伝えられるスポーツイベントや競技会等の開催に取り組みます。		具体的な取組	②スポーツ団体の活動の充実	◇地域スポーツ振興の中心となる組織である市スポーツ協会が中心となり、地域スポーツ振興に取り組めます。 ◇市民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みを担っている「総合型地域スポーツクラブ」が、継続して役割を果たせるように、活動の充実や自立的な運営につながるよう育成・支援を行ないます。 ◇青少年の心身の健全育成の推進を目的とした市青少年スポーツ協会の活動を推進します。		具体的な取組	③障害者のスポーツ活動の推進	◇障害のある人をはじめ配慮が必要な様々な方がスポーツを通じて社会参画できることが、共生社会の実現に向けて求められています。このため、誰もが楽しめるニュースポーツの普及推進に取り組めます。 ◇障害のある人に対するスポーツ指導者を充実させるため、スポーツ推進委員会を中心に指導者の育成に取り組めます。 ◇障害のある人も、楽しくスポーツに親しむことのできる環境の整備や障害者スポーツへの理解を深めるため障害者関係団体等との連携を図ります。		結合 京丹後市スポーツ協会を追記 青少年スポーツ協会を追記
施策名	①魅力あるスポーツ事業の創出																									
◇成人の週 1 回以上のスポーツ実施率の向上を目指す本市において、市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要です。このため、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツとして、ノルディック・ウォーキングのイベントを実施するなど、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をし、魅力ある事業内容を展開することで生涯にわたって継続したスポーツ活動を促進します。 ◇スポーツへの関心が高まるよう、「見るスポーツ」の魅力が伝えられるスポーツイベントや競技会等の開催を目指します。																										
施策名	②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援																									
◇市民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みを担っている「総合型地域スポーツクラブ」が、地域スポーツの担い手として、継続して役割を果たせるよう活動内容の充実を図り、総合型地域スポーツクラブの自立的な運営につながるよう支援を行います。 ◇「総合型地域スポーツクラブ」の広報・啓発に努め、スポーツを通じたまちづくりが展開されるよう、地域コミュニティの醸成や活力あるクラブの育成・支援を行います。																										
施策名	③障害者のスポーツ活動の推進																									
◇障害者をはじめ配慮が必要な様々な方がスポーツを通じて社会参画できることが、共生社会の実現に向けて求められています。このため、障害者と健常者が一緒になって楽しめるようなニュースポーツの普及推進に努めます。 ◇障害者に対するスポーツ指導者を充実させるため、スポーツ推進委員会を中心に指導者の育成を図ります。 ◇障害者が、障害の種類や程度、さらにはライフステージに応じて、身近な地域で皆と一緒に日常的にスポーツを楽しめる「生涯スポーツ」の環境整備について検討していきます。																										
具体的な取組	①魅力あるスポーツ事業の創出																									
◇市民のスポーツへの関心を高めるために、スポーツの楽しさを実感できる事業の創出が必要であり、市民のニーズに応じた魅力あるスポーツを実施し、誰もが気軽に参加しやすい事業となるような工夫をするとともに、「見るスポーツ」の魅力が伝えられるスポーツイベントや競技会等の開催に取り組みます。																										
具体的な取組	②スポーツ団体の活動の充実																									
◇地域スポーツ振興の中心となる組織である市スポーツ協会が中心となり、地域スポーツ振興に取り組めます。 ◇市民が種目を超えてスポーツを「する」「ささえる」仕組みを担っている「総合型地域スポーツクラブ」が、継続して役割を果たせるように、活動の充実や自立的な運営につながるよう育成・支援を行ないます。 ◇青少年の心身の健全育成の推進を目的とした市青少年スポーツ協会の活動を推進します。																										
具体的な取組	③障害者のスポーツ活動の推進																									
◇障害のある人をはじめ配慮が必要な様々な方がスポーツを通じて社会参画できることが、共生社会の実現に向けて求められています。このため、誰もが楽しめるニュースポーツの普及推進に取り組めます。 ◇障害のある人に対するスポーツ指導者を充実させるため、スポーツ推進委員会を中心に指導者の育成に取り組めます。 ◇障害のある人も、楽しくスポーツに親しむことのできる環境の整備や障害者スポーツへの理解を深めるため障害者関係団体等との連携を図ります。																										

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
<u>った指導者を外部から顧問として迎え入れるとともに、高い技術を持った地域のスポーツ指導者と学校の連携を強化し、運動・活動の環境を整え、競技力の向上を目指します。</u> （2）指導者の育成・確保 施策名 ①人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実 ◇スポーツ人口の拡大及び競技力の向上を図るためには、指導者の確保と指導体制の確立が不可欠です。これからの指導者に求められることは、専門分野の指導力だけでなく、栄養指導やスポーツ障害の予防、メンタルトレーニング等に至るまで多様化しています。このような状況に直面している <u>スポーツ少年団</u>等の指導者と連携を深め、研修会等に取り組みます。 ◇市民ニーズに応じた指導者の養成やスポーツ活動実施率向上を図るため、<u>体育協会</u>等と連携して各種研修会や講演会を開催します。	<u>◇市総合スポーツ大会や京都府府民総合体育大会等への参加者の拡大を図ります。</u> 基本施策（2）指導者の育成・確保を推進します 具体的な取組 ①人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実 ◇スポーツ人口の拡大及び競技力の向上を図るため、指導者の確保と指導体制の確立が不可欠です。これからの指導者に求められることは、専門分野の指導力だけでなく、栄養指導やスポーツ障害の予防、メンタルトレーニング等に至るまで多様化しています。このような状況に直面している市青少年スポーツ<u>協会</u>等の指導者と連携を深め、研修会等に取り組みます。 ◇市民ニーズに応じた指導者の養成やスポーツ活動実施率向上を図るため、<u>市スポーツ協会</u>等と連携して各種研修会や講演会を開催に取り組みます。	大会への参加者拡大を追記 時点修正 時点修正
施策名 ②指導力の向上 ◇指導者の指導力の向上と新たな指導者の育成は重要な課題です。このため、最新のスポーツ医学・科学情報や客観的なデータの活用方法、そして、コーチングスキルの習得を目的とした指導者講習会を実施し、スポーツ指導者に求められる能力の向上を図ります。 ◇競技力の向上の視点に立った基礎体力の向上等、共通の課題や効果的な指導方法について、具体的な実践から学び、必要な情報を共有できるよう指導者の指導力向上及び育成を目的とした研修会や講習会等を開催します。	具体的な取組 ②指導力の向上 ◇競技力の向上の視点に立った基礎体力の向上等、共通の課題や効果的な指導方法について、具体的な実践から学び、必要な情報を共有できるよう指導者の指導力向上及び育成を目的とした研修会や講習会等の開催及び参加への支援に取り組みます。	削除 研修会等への参加支援を追加
施策名 ③スポーツ推進委員の活動ならびに資質の向上 ◇スポーツニーズを把握し、スポーツ人口の底辺を拡大していくためには、身近な地域のスポーツ指導者として活動するスポーツ推進委員の役割は重要です。しかし、市民アンケートの結果では、本市のスポーツ推進委員の認知度は低く、活動も市内全地域への周知が図れていないため、このような状況を改善するためにも、市民が気軽に参加でき、楽しめるスポーツを探索するとともに、先進的なニュースポーツを紹介している研修会等へ積極的に参加し、スポーツ推進委員の資質の向上に努めるとともに、広報等を通じ活動の周知を図ります。 ◇ニュースポーツ教室等市民のニーズに合った定期的なスポーツ活動の場を提供するとともに、公民館及び小中学校PTAなどと連携し、身近な場でのスポーツ活動の普及・定着を図ります。	<削除>	削除

現 行（第2次計画）				改正案（第2次計画見直し）				変更理由等																	
基本目標3		スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実		基本方針3		スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実		現状値R4に修正																	
◇数値目標◇				◇基本目標◇																					
<table><tr><th colspan="2">指標項目</th><th>単位</th><th>現状値 (H28)</th><th>最終目標値 (H39)</th></tr><tr><td colspan="2">公共スポーツ施設の利用回数</td><td>回</td><td>13,682</td><td>16,000</td></tr></table> 【指標内容】： 公共施設利用状況調査結果より設定。				指標項目		単位	現状値 (H28)			最終目標値 (H39)	公共スポーツ施設の利用回数		回	13,682	16,000	<table><tr><th colspan="2">基 本 目 標</th><th>現状値（R4）</th><th>最終目標値（R9）</th></tr><tr><td>6</td><td>公共スポーツ施設の利用回数</td><td>15,407回</td><td>16,000回</td></tr></table>				基 本 目 標		現状値（R4）	最終目標値（R9）	6	公共スポーツ施設の利用回数
指標項目		単位	現状値 (H28)	最終目標値 (H39)																					
公共スポーツ施設の利用回数		回	13,682	16,000																					
基 本 目 標		現状値（R4）	最終目標値（R9）																						
6	公共スポーツ施設の利用回数	15,407回	16,000回																						
（1）身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設_の整備、充実				基本施策（1） 身近で利用しやすいスポーツ施設等の整備・充実を図ります																					
施策名		①社会体育用学校開放施設事業の推進		具体的な取組		①スポーツ施設等の整備・充実		ハード事業																	
				◇スポーツ施設は、市民のスポーツ活動の拠点です。スポーツ施設の利用実態を把握し利用率の向上を図ることが重要ですが、老朽施設や利用が少ない施設も少なくありません。市内全体のバランスを考慮した適切な配置と施設・設備の維持修繕に取り組みます。 ◇学校体育施設は、市民にとって身近なスポーツ活動の場です。このため、利便性の向上を図りつつ引き続き施設の開放を進めます。併せて、学校体育施設の老朽化が進む中で、今後も継続して市民が安全・快適に利用できるよう計画的な施設・設備の整備に努めます。																					
施策名		②社会体育施設の配置と利用サービスの向上		具体的な取組		②スポーツ・レクリエーション環境の整備		削除																	
				◇各種大会の誘致等を推進するため、必要な規模・水準を満たすスポーツ施設等の整備を検討します。 ◇障害のある人や高齢者など、誰もが利用しやすいバリアフリー化などに配慮したスポーツ環境の整備に努めます。 ◇市民ニーズに即した新たなスポーツ・レクリエーション施設等、スポーツ環境の整備を検討・推進します。																					
施策名		③スポーツしやすい環境の整備		<削除>																					

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等								
<u>陸上競技場への整備を検討します。</u> <u>◇屋内競技を行う社会体育施設についても利便性の向上につなげるため整備充実を図ります。</u>	<削除>	ソフト事業								
（2）スポーツ施設等の管理運営	基本施策（2） スポーツ施設等の管理運営を推進します									
<table><tr><td>施策名</td><td>①管理運営体制の強化</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇市民が気軽にスポーツ活動ができる環境をつくるためには、施設の運営体制を強化することが必要です。このため、多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇社会体育施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理や委託などについて話し合いを行ないます。 </td></tr></table>	施策名		①管理運営体制の強化	◇市民が気軽にスポーツ活動ができる環境をつくるためには、施設の運営体制を強化することが必要です。このため、多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇社会体育施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理や委託などについて話し合いを行ないます。		<table><tr><td>具体的な取組</td><td>①スポーツ施設等の適正な管理運営</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、施設の運営体制を強化し、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇スポーツ施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理や委託などについて検討に取り組みます。 </td></tr></table>	具体的な取組	①スポーツ施設等の適正な管理運営	◇多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、施設の運営体制を強化し、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇スポーツ施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理や委託などについて検討に取り組みます。	
施策名	①管理運営体制の強化									
◇市民が気軽にスポーツ活動ができる環境をつくるためには、施設の運営体制を強化することが必要です。このため、多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇社会体育施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理や委託などについて話し合いを行ないます。										
具体的な取組	①スポーツ施設等の適正な管理運営									
◇多様化する市民ニーズに対応した効果的な管理運営が行えるよう、施設の運営体制を強化し、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇スポーツ施設の効果的な利用を促進するため、現在直営で行っている管理運営について、スポーツ関係団体等への指定管理や委託などについて検討に取り組みます。										
<table><tr><td>施策名</td><td>②スポーツ施設予約システムの充実</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇市民が気軽に利用できるよう、インターネット等を利用した施設予約システムの利用促進を図り、使用料体系や減免制度の見直しについて検討を行い、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇滞在型スポーツの推進として、合宿誘致の経験のある観光関係者との連携を図り、社会体育施設の有効利用につながるサービスの向上に努めます。 </td></tr></table>	施策名	②スポーツ施設予約システムの充実	◇市民が気軽に利用できるよう、インターネット等を利用した施設予約システムの利用促進を図り、使用料体系や減免制度の見直しについて検討を行い、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇滞在型スポーツの推進として、合宿誘致の経験のある観光関係者との連携を図り、社会体育施設の有効利用につながるサービスの向上に努めます。		<table><tr><td>具体的な取組</td><td>②スポーツ施設の利便性の向上</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇市民が気軽に利用できるよう、インターネット等を利用した施設予約システムの利用促進を図り、施設利用サービスの向上に取り組みます。 ◇スポーツ施設の利用促進、交流人口の拡大を目的に、関係団体と連携し、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致に取り組みます。 </td></tr></table>	具体的な取組	②スポーツ施設の利便性の向上	◇市民が気軽に利用できるよう、インターネット等を利用した施設予約システムの利用促進を図り、施設利用サービスの向上に取り組みます。 ◇スポーツ施設の利用促進、交流人口の拡大を目的に、関係団体と連携し、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致に取り組みます。		
施策名	②スポーツ施設予約システムの充実									
◇市民が気軽に利用できるよう、インターネット等を利用した施設予約システムの利用促進を図り、使用料体系や減免制度の見直しについて検討を行い、施設利用サービスの向上に努めます。 ◇滞在型スポーツの推進として、合宿誘致の経験のある観光関係者との連携を図り、社会体育施設の有効利用につながるサービスの向上に努めます。										
具体的な取組	②スポーツ施設の利便性の向上									
◇市民が気軽に利用できるよう、インターネット等を利用した施設予約システムの利用促進を図り、施設利用サービスの向上に取り組みます。 ◇スポーツ施設の利用促進、交流人口の拡大を目的に、関係団体と連携し、スポーツ大会やスポーツ合宿の誘致に取り組みます。										
<table><tr><td>施策名</td><td>③競技系専門施設の利活用の促進</td></tr><tr><td colspan="2"> ◇峰山途中ヶ丘公園陸上競技場は、公認記録として認定される大会を開催することができないため、利用回数が減少している状況にあります。このため、利活用の促進と競技力の向上を図るためには、陸上競技場の機能アップが必要不可欠であり、第3種公認陸上競技場への整備を検討します。 ◇「ワールドマスタースゲームズ2021 関西（カヌーマラソン）」の開催に向け、久美浜湾カヌー競技場の改修を行うことで、国際大会をはじめ、国内の大会誘致の可能性が広がり、交流人口の拡大が見込めるとともに、シオ・スポーツの拠点施設としての利活用も図れるため、施設整備計画を推進します。 </td></tr></table>	施策名	③競技系専門施設の利活用の促進	◇峰山途中ヶ丘公園陸上競技場は、公認記録として認定される大会を開催することができないため、利用回数が減少している状況にあります。このため、利活用の促進と競技力の向上を図るためには、陸上競技場の機能アップが必要不可欠であり、第3種公認陸上競技場への整備を検討します。 ◇「ワールドマスタースゲームズ2021 関西（カヌーマラソン）」の開催に向け、久美浜湾カヌー競技場の改修を行うことで、国際大会をはじめ、国内の大会誘致の可能性が広がり、交流人口の拡大が見込めるとともに、シオ・スポーツの拠点施設としての利活用も図れるため、施設整備計画を推進します。		<削除>					
施策名	③競技系専門施設の利活用の促進									
◇峰山途中ヶ丘公園陸上競技場は、公認記録として認定される大会を開催することができないため、利用回数が減少している状況にあります。このため、利活用の促進と競技力の向上を図るためには、陸上競技場の機能アップが必要不可欠であり、第3種公認陸上競技場への整備を検討します。 ◇「ワールドマスタースゲームズ2021 関西（カヌーマラソン）」の開催に向け、久美浜湾カヌー競技場の改修を行うことで、国際大会をはじめ、国内の大会誘致の可能性が広がり、交流人口の拡大が見込めるとともに、シオ・スポーツの拠点施設としての利活用も図れるため、施設整備計画を推進します。										

現 行（第2次計画）				改正案（第2次計画見直し）				変更理由等															
基本目標4		スポーツ観光のまちづくり		基本方針4		スポーツ観光のまちづくり		現状値R4に修正															
◇数値目標◇				◇基本目標◇																			
<table><tr><th>指標項目</th><th>単位</th><th>現状値（H27）</th><th>最終目標値（H39）</th></tr><tr><td>スポーツイベント参加者数</td><td>人</td><td>12,686</td><td>20,000</td></tr></table> 【指標内容】： 第2次京丹後市総合計画「基本計画」から設定。				指標項目	単位	現状値（H27）	最終目標値（H39）		スポーツイベント参加者数	人	12,686	20,000	<table><tr><th colspan="2">基 本 目 標</th><th>現状値（R4）</th><th>最終目標値（R9）</th></tr><tr><td>7</td><td>スポーツイベント参加者数</td><td>8,014人</td><td>20,000人</td></tr></table>				基 本 目 標		現状値（R4）	最終目標値（R9）	7	スポーツイベント参加者数	8,014人
指標項目	単位	現状値（H27）	最終目標値（H39）																				
スポーツイベント参加者数	人	12,686	20,000																				
基 本 目 標		現状値（R4）	最終目標値（R9）																				
7	スポーツイベント参加者数	8,014人	20,000人																				
（1）滞在型スポーツ観光の促進				基本施策（1） 滞在型スポーツ観光を促進します																			
施策名		①スポーツイベントやアクティビティの活用		具体的な取組		①スポーツイベントの開催やアクティビティの促進		時点修正															
		◇自然豊かな観光資源を活用したスポーツイベント（丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝、丹後半島ラリー、TANTANロングライド、ドラゴンカヌー大会、「ワールドマスターズゲームズ2021 関西」など）の開催、ジオパークの魅力を活かしたアクティビティの場や機会を提供することで本市の魅力を発信し、参加者の増加及びリピーターの確保を図ります。				◇自然豊かな観光資源を活用したスポーツイベント（丹後100kmウルトラマラソン、丹後大学駅伝、ドラゴンカヌー大会、「ワールドマスターズゲームズ2027 関西」など）の開催、ジオパークの魅力を活かしたアクティビティの場や機会を提供することで本市の魅力を発信し、参加者の増加及びリピーターの確保を図ります。																	
						◇豊かな地域資源と四季を通じて様々なスポーツやレクリエーション活動が体験できる環境を活かしたスポーツ事業に取り組みます。		地域資源を活かしたスポーツ事業の取組を追記															
		◇国際大会等の大規模大会を開催するには、スポーツボランティアによるマンパワーが必要不可欠となるため、各種関係団体及び一般ボランティアの募集を行い、スポーツを支えるスポーツボランティアの確保に向けた取り組みを推進します。				◇国際大会等の大規模大会を開催するため、スポーツボランティアによるマンパワーが必要不可欠であり、スポーツを支えるスポーツボランティア活動を奨励し、人材の育成と活用に取り組みます。		時点修正															
施策名		②外国との交流を進めるホストタウンへの取り組み		<削除>																			
		◇2020年東京オリンピック・パラリンピックに向け、外国人アスリートなど、国際社会との交流を進めるホストタウンの取り組みを推進します。																					
									時点削除														

[illegible]

現 行（第2次計画）		改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
施策名 ②スポーツにおける広域連携 <u>◇オリンピック・パラリンピック関係のホストタウンや「ワールドマスタースゲームズ2021 関西」に取り組むことで、国内外へ向け情報発信、スポーツと観光を組み合わせた「スポーツツーリズム」による交流人口の拡大を図ります。</u> <u>◇競技施設等の整備・充実を推進することで、海の京都DMOなどの観光関係者と連携を図り、スポーツ大会や合宿の誘致に積極的に取り組み、本市への来訪者を増やし地域の活性化を図ります。</u>		<削除>	時点削除
施策名 ③スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進 ◇スポーツは、市民が心身ともに健康で文化的な生活を営むために必要なものであるばかりではなく、地域振興や経済効果そして長寿社会を築くなどまちづくりを進めるための様々な効果に対する期待があります。このため、市民の誰もがそれぞれの年齢や体力、目的に応じて、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」スポーツに関わることができる機会を効果的に提供します。 ◇ジオパークなどの地域資源や特徴を活かしたスポーツ活動を推進するとともに、関係機関と連携を図りながら、「スポーツ観光」の視点による<u>取り組み</u>を発展させていきます。 ◇スポーツの推進は「世界共通の人類の文化」として、本市はもとより国・府のスポーツの発展にもつながります。今後、さらにスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進することにより、健康の保持増進や体力の向上だけでなく、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成につながるよう、創造的な文化活動の1つとして各事業と連携を図ります。		具体的な取組 ②スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進 <u>◇各種スポーツイベントの積極的な実施はスポーツの交流機会の拡充、スポーツを通じた幅広い地域間交流と市民参加を促進することに繋がります。市民が関わるスポーツイベントを開催・誘致し、地域、地区の活性化を図ります。</u> ◇スポーツは、市民が心身ともに健康で文化的な生活を営むために必要なものであるばかりではなく、地域振興や経済効果そして長寿社会を築くなどまちづくりを進めるための様々な効果に対する期待があります。このため、市民の誰もがそれぞれの年齢や体力、目的に応じて、「いつでも」「どこでも」「誰でも」「いつまでも」スポーツに関わることができる機会を効果的に提供します。 ◇ジオパークなどの地域資源や特徴を活かしたスポーツ活動を推進するとともに、関係機関と連携を図りながら、「スポーツ観光」の視点による<u>取組</u>を発展させていきます。 ◇スポーツの推進は「世界共通の人類の文化」として、本市はもとより国・府のスポーツの発展にもつながります。今後、さらにスポーツを活用した総合的なまちづくりを推進することにより、健康の保持増進や体力の向上だけでなく、明るく豊かで活力に満ちた社会の形成につながるよう、創造的な文化活動の1つとして各事業と連携を図ります。	スポーツイベント追記

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
第4章 計画の推進に向けて 計画の進捗管理 （１）市役所庁内における推進体制の整備 ※ 計画は生涯学習課を事務局とし、スポーツを通して京丹後市の活性化を市役所全庁的に推進していくため「京丹後市スポーツのまちづくり推進本部」を中心に関係各課と情報共有等、連携を図りながら取り組みを推進します。本計画で掲げた市民のスポーツ推進に関する各施策については、PDCAサイクル（計画管理のためのサイクル）を実行し、毎年、担当課において点検や評価を行うことで計画の進捗状況を把握し、実効性を確保します。 ※平成30年4月1日 社会教育課から生涯学習課へ名称変更 ■PDCAサイクル <pre> graph LR PLAN[PLAN 行政活動を 計画する] --> DO[DO 行政活動を 実践する] DO --> CHECK[CHECK 行政活動を 評価する] CHECK --> ACTION[ACTION 行政活動を 改善する] ACTION --> PLAN </pre> （２）市民視点からの推進体制の整備 計画の進捗状況や数値目標の達成状況を広報紙やホームページ等を活用して随時公表することで、市民や関係団体などの意見の施策への反映に努めます。また、京丹後市スポーツ推進審議会において、計画の進捗状況を管理します。その際、本市のスポーツ推進に重要な役割を担う各種団体と定期的に意見交換を行い、施策や事業の推進に活かします。	第4章 計画の推進に向けて 計画の進捗管理 （１）市役所庁内における推進体制の整備 計画は生涯学習課を事務局とし、スポーツを通して京丹後市の活性化を市役所全庁的に推進していくため「京丹後市スポーツのまちづくり推進本部」を中心に関係各課と情報共有等、連携を図りながら取り組みを推進します。本計画で掲げた市民のスポーツ推進に関する各施策については、PDCAサイクル（計画管理のためのサイクル）を実行し、毎年、担当課において点検や評価を行うことで計画の進捗状況を把握し、実効性を確保します。 ■PDCAサイクル <pre> graph LR PLAN[PLAN 行政活動を 計画する] --> DO[DO 行政活動を 実践する] DO --> CHECK[CHECK 行政活動を 評価する] CHECK --> ACTION[ACTION 行政活動を 改善する] ACTION --> PLAN </pre> （２）市民視点からの推進体制の整備 計画の進捗状況や数値目標の達成状況を広報紙やホームページ等を活用して随時公表することで、市民や関係団体などの意見の施策への反映に努めます。また、京丹後市スポーツ推進審議会条例に基づき「京丹後市スポーツ推進審議会」を設置し、本計画で示したスポーツ推進に関する施策や事業の進捗確認等調査及び審議を行います。 また、本市のスポーツ推進に重要な役割を担う各種団体と定期的に意見交換を行い、施策や事業の推進に活かします。 <pre> graph TD City[京丹後市] --- Committee[京丹後市スポーツ推進審議会] City --- Citizens[市民・団体] City --- Departments[担当各課] Committee --- Citizens Committee --- Departments Citizens --- Departments </pre>	※削除 名称変更説明削除 「京丹後市スポーツ推進審議会」追記 イメージ図追加

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
（3）市民、<u>団体</u>等との連携・協働 市民が日常的にスポーツに取り組めるよう、意識啓発活動を推進するとともに誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。また、統計データの収集や、定期的な市民アンケートの実施などにより、市民ニーズを把握した上で計画の改善などに活かします。 また、より一層のスポーツ活動の振興を図るため、スポーツに取り組む<u>各種団体</u>の自主的な活動を支援するとともに、<u>各種団体</u>と連携・協働した取り組みを積極的に実施します。	（3）市民、<u>地域等</u>との連携・協働 市民が日常的にスポーツに取り組めるよう、意識啓発活動を推進するとともに誰もが参加しやすい環境づくりを進めます。また、統計データの収集や、定期的な市民アンケートの実施などにより、市民ニーズを把握した上で計画の改善などに活かします。 また、より一層のスポーツ活動の振興を図るため、スポーツに取り組む<u>地域等</u>の自主的な活動を支援するとともに、<u>地域等</u>と連携・協働した取組を積極的に実施します。 ■連携イメージ <pre> graph TD subgraph Stakeholders A[保育所
こども園] B[小学校
中学校] C[高等学校] D[総合型地域
スポーツクラブ] E[企業
民間スポーツ
クラブ] F[障害者
団体] G[高齢者
団体] H[市青少年
スポーツ協会] I[市スポーツ
協会] J[健康づくり
推進委員] K[新たな地域
コミュニティ] L[地域
地区] end I --- J I --- K I --- L I --- M[スポーツ推進
委員会] I --- N[市民が楽しみ とともに
つくる
スポーツのまち] I --- O[市青少年
スポーツ協会] I --- P[障害者
団体] I --- Q[高齢者
団体] I --- R[企業
民間スポーツ
クラブ] I --- S[総合型地域
スポーツクラブ] I --- T[高等学校] I --- U[小学校
中学校] I --- V[保育所
こども園] subgraph Support W[京丹後市スポーツ推進審議会] X[京丹後市・京丹後市教育委員会
（京丹後市スポーツのまちづくり推進本部）] Y[調査・審議] Z[諮問] end X -- 調査・審議 --> W W -- 諮問 --> X X -- "スポーツに取り組める環境の整備
生涯スポーツの下支え" --> I end </pre>	連携イメージ追加

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
資料編	資料編	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
平成 26 年度スポーツ政策調査研究調査報告書抜粋 第5章 本調査研究の成果と課題 5.3 スポーツや身体運動の促進による医療費削減効果 本調査研究からは、大学、自治体、企業において非常に優れた研究や事業が実施されており、ウォーキングやストレッチ・筋力体操などの身体運動の促進は、健康維持増進や生活習慣病予防といった身体面での効果が高く、こうした運動の継続は、確実に医療費削減つながることが分かった。信州大学の研究報告では、信州大学が開発した「インターバル速歩」を5カ月間継続すると、主な効果として、①体力が最大20%向上する、②生活習慣病の数値が約20%改善する、③年間にかかる医療費を約20%節約できる、という「インターバル速歩20の法則」が実証されている。したがって、1人でも多くの国民がスポーツや身体運動に取り組み、継続できれば、国民全体では生活習慣病の改善が見込まれ、莫大な医療費削減となる。とりわけ、ウォーキングは、老若男女を問わず、いつでも、どこでも、お金をかけずに、手軽にできる身体運動であることから、国民に最も推奨される身体運動である。 今後は、本調査研究から明らかになった医療費削減に資するウォーキングやストレッチ・筋力体操などの身体運動の取り組みを自治体、企業、国民全体に周知し、運動の実施と継続に向けた行動変容を促すことが最大の課題となる。有効な行動変容の手段については「4.3 ヒアリング結果の考察」記載したとおりであり、こうした有効な手段を活用した取り組みが、自治体、企業、国民全体に広がっていくことが必要不可欠である。 近年、我が国は世界に類を見ないスピードで高齢化が進み、これに伴い医療費も急増している。医療費が多くかかるのは60代以上の年齢層である。60代以上の年齢層が運動の実施により、元気で自立した生活ができること、すなわち健康寿命の延伸が医療費削減や介護保険料の削減には最も効果がある。健康寿命の延伸に向け、ウォーキングやストレッチ・<u>権力</u>体操などの身体運動が国民に広く普及していくことを期待したい。	平成 26 年度スポーツ政策調査研究調査報告書抜粋 第5章 本調査研究の成果と課題 5.3 スポーツや身体運動の促進による医療費削減効果 本調査研究からは、大学、自治体、企業において非常に優れた研究や事業が実施されており、ウォーキングやストレッチ・筋力体操などの身体運動の促進は、健康維持増進や生活習慣病予防といった身体面での効果が高く、こうした運動の継続は、確実に医療費削減つながることが分かった。信州大学の研究報告では、信州大学が開発した「インターバル速歩」を5カ月間継続すると、主な効果として、①体力が最大20%向上する、②生活習慣病の数値が約20%改善する、③年間にかかる医療費を約20%節約できる、という「インターバル速歩20の法則」が実証されている。したがって、1人でも多くの国民がスポーツや身体運動に取り組み、継続できれば、国民全体では生活習慣病の改善が見込まれ、莫大な医療費削減となる。とりわけ、ウォーキングは、老若男女を問わず、いつでも、どこでも、お金をかけずに、手軽にできる身体運動であることから、国民に最も推奨される身体運動である。 今後は、本調査研究から明らかになった医療費削減に資するウォーキングやストレッチ・筋力体操などの身体運動の取り組みを自治体、企業、国民全体に周知し、運動の実施と継続に向けた行動変容を促すことが最大の課題となる。有効な行動変容の手段については「4.3 ヒアリング結果の考察」記載したとおりであり、こうした有効な手段を活用した取り組みが、自治体、企業、国民全体に広がっていくことが必要不可欠である。 近年、我が国は世界に類を見ないスピードで高齢化が進み、これに伴い医療費も急増している。医療費が多くかかるのは60代以上の年齢層である。60代以上の年齢層が運動の実施により、元気で自立した生活ができること、すなわち健康寿命の延伸が医療費削減や介護保険料の削減には最も効果がある。健康寿命の延伸に向け、ウォーキングやストレッチ・<u>筋力</u>体操などの身体運動が国民に広く普及していくことを期待したい。	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
	京丹後市スポーツのまちづくり推進本部設置規程 ○京丹後市スポーツのまちづくり推進本部設置規程 平成25年5月27日 訓令第8号 （設置） 第1条 スポーツが活力ある健全な地域社会の発展に大きく資することを踏まえ、スポーツを通じた京丹後市の活性化を全庁的に推進していくため、京丹後市スポーツのまちづくり推進本部（以下「推進本部」という。）を設置する。 （所掌事務） 第2条 推進本部は、前条に規定する設置の目的を達成するため、次に掲げる事項を所掌する。 （1） スポーツを活用した総合的なまちづくりの推進に関すること。 （2） 市民のスポーツ活動の推進に関すること。 （3） 京丹後市スポーツ推進計画に伴う調査研究に関すること。 （4） 前3号に掲げるもののほかスポーツの推進に関すること。 （組織） 第3条 推進本部は、本部長、副本部長及び本部員をもって組織する。 2 本部長は、京丹後市副市長の事務分担任に関する規則（令和3年京丹後市規則第10号。以下「事務分担任規則」という。）第2条の規定による事務を担当する副市長をもって充てる。 3 本部長代行は、事務分担任規則第2条の規定による事務を担当しない副市長をもって充てる。 4 副本部長は、教育長をもって充てる。 5 本部員は、市長公室長、総務部長、市民環境部長、医療部長、健康長寿福祉部長、商工観光部長、建設部長及び教育次長をもって充てる。 （本部長、本部長代行及び副本部長） 第4条 本部長は、推進本部を総括する。 2 本部長代行は、本部長を補佐し、本部長に事故があるとき又は本部長が欠けたときは、その職務を代理する。 3 副本部長は、本部長代행을補佐し、本部長代行に事故があるとき又は本部長代行が欠けたときは、その職務を代理する。 （会議） 第5条 推進本部の会議は、本部長が招集し、これを主宰する。 2 本部長は、必要があると認めるときは、会議に本部員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。 （事務局） 第6条 推進本部の事務を処理するため、事務局を教育委員会事務局生涯学習課に置く。 2 事務局長は、教育委員会事務局生涯学習課長をもって充てる。 3 事務局次長は、教育委員会事務局生涯学習課スポーツ推進室長をもって充てる。	推進本部設置規程追加

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
	4 事務局員は、前2項に規定する者を除く教育委員会事務局生涯学習課の職員をもって充てる。 （その他） 第7条 この訓令に定めるもののほか、推進本部の運営に関し必要な事項は、本部長が別に定める。 附 則 この訓令は、平成25年5月27日から施行する。 附 則（平成29年4月1日訓令第4号） この訓令は、平成29年4月1日から施行する。 附 則（平成30年3月30日訓令第6号） この訓令は、平成30年4月1日から施行する。 附 則（令和元年5月30日訓令第8号） この訓令は、令和元年5月30日から施行し、改正後の京丹後市スポーツのまちづくり推進本部設置規程は、平成31年4月1日から適用する。 附 則（令和2年5月15日訓令第11号） この訓令は、令和2年5月16日から施行する。 附 則（令和3年4月1日訓令第6号） この訓令は、令和3年4月1日から施行する。	

現 行 (第2次計画)	改正案 (第2次計画見直し)	変更理由等
京丹後市スポーツ推進審議会条例 ○京丹後市スポーツ推進審議会条例 平成16年4月1日 条例第46号 改正 平成23年11月30日条例第28号 (設置) 第1条 市民スポーツの推進を図るため、スポーツ基本法(平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定に基づき、京丹後市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。 (所掌事務) 第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、スポーツの推進に関する事項について調査及び審議する。 (組織) 第3条 審議会は、12人以内の委員をもって組織する。 2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委属する。 (1) スポーツに関する学識経験者 (2) 関係行政機関の職員 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。 4 委員は、再任を妨げない。 (会長及び副会長) 第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置く。 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。 (会議) 第5条 審議会の会議は、会長が召集し、会長は、その議長となる。 2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (庶務) 第6条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。 (委任) 第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。 附 則 この条例は、平成16年4月1日から施行する。 附 則(平成23年11月30日条例第28号) この条例は、平成24年4月1日から施行する。	京丹後市スポーツ推進審議会条例 ○京丹後市スポーツ推進審議会条例 平成16年4月1日 条例第46号 改正 平成23年11月30日条例第28号 (設置) 第1条 市民スポーツの推進を図るため、スポーツ基本法(平成23年法律第78号。以下「法」という。)第31条の規定に基づき、京丹後市スポーツ推進審議会(以下「審議会」という。)を設置する。 (所掌事務) 第2条 審議会は、教育委員会の諮問に応じ、スポーツの推進に関する事項について調査及び審議する。 (組織) 第3条 審議会は、12人以内の委員をもって組織する。 2 委員は、次に掲げる者のうちから教育委員会が委属する。 (1) スポーツに関する学識経験者 (2) 関係行政機関の職員 3 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。 4 委員は、再任を妨げない。 (会長及び副会長) 第4条 審議会に会長及び副会長各1人を置く。 2 会長及び副会長は、委員の互選によって定める。 3 会長は、会務を総理し、審議会を代表する。 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。 (会議) 第5条 審議会の会議は、会長が召集し、会長は、その議長となる。 2 審議会の会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。 3 審議会の議事は、出席した委員の過半数で決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。 (庶務) 第6条 審議会の庶務は、教育委員会事務局において処理する。 (委任) 第7条 この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会規則で定める。 附 則 この条例は、平成16年4月1日から施行する。 附 則(平成23年11月30日条例第28号) この条例は、平成24年4月1日から施行する。	

現 行（第2次計画）			改正案（第2次計画見直し）			変更理由等
京丹後市スポーツ推進審議会委員名簿			京丹後市スポーツ推進審議会委員名簿			時点修正
			任期：令和5年度から6年度			
役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属	
会長	長尾 国顕	京丹後市体育協会副会長	会長	小谷 順一	（一社）京丹後市スポーツ協会副会長	
副会長	松井 安則	京丹後市商工会事務局長	副会長	板倉 俊明	京丹後市商工会事務局長	
	正田 絢子	京都府立網野高等学校教諭 （レスリング部顧問）		小石原 正志	（一社）京丹後市スポーツ協会常務理事	
	今井 みどり	京都府ママさんバレーボール連盟参与		田崎 仁志	京丹後市スポーツ推進委員会会長	
	小石原 正志	京丹後市体育協会理事長		足立 俊治	網野町ジュニアスポーツ協会監査	
	吉岡 直樹	よしおかクリニック院長		小森 直子	スポーツインストラクター	
	足立 俊治	網野町ジュニアスポーツ協会監査		吉岡 美乃里	あみの体操クラブ指導者	
	金森 智徳	京丹後市スポーツ少年団副本部長		川口 勝彦	京丹後市区長連絡協議会（大宮町区長連絡協議会会長）	
	田崎 仁志	京丹後市スポーツ推進委員会会長		安井 國士	全国高等学校体育連盟力ヌー専門部副委員長 （京都府立清新高等学校教諭）	
	川口 勝彦	京丹後市区長連絡協議会会長 （大宮町区長連絡協議会会長）		谷口 正郎	京丹後市青少年スポーツ協会会長	検討経緯追加
	室田 秀和	京丹後市小学校体育連盟会長		杉本 智	京丹後市小学校体育連盟会長	
	下戸 昭宏	京丹後市中学校体育連盟会長		藤原 英一	京丹後市中学校体育連盟会長	
順不同・敬称略			順不同・敬称略			
			検討経緯			
			名称	日程	内容	
			諮問	令和5年 2月22日	教育委員会教育長より「第2次京丹後市スポーツ推進計画」の中間見直しについて諮問	
			第1回審議会	5月25日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討	
			第2回審議会	7月25日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討	
			第3回審議会	10月30日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討	
			第4回審議会	11月20日	第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直し検討	
			答申		教育委員会教育長へ計画見直し案（答申）提出	
			パブリックコメント			

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等														
	第2次京丹後市スポーツ推進計画 前期(H30～R4 年度)実施概要 <基本目標1> ライフステージに応じたスポーツ施策の推進 <table><tr><th>取組の方向</th><th>施策名</th><th>事業実施内容</th><th>関係団体</th></tr><tr><td rowspan="3">（1）スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進</td><td>①スポーツを楽しみながら培う健康・体カづくり</td><td>・ニュースポーツ教室：ビーチボールバレー、きばれえ、ユニボッチャ、ファミリーバドミントン等 [平成30年度:参加者数326人][令和元年度:参加者数359人] [令和2年度:参加者数389人][令和3年度:参加者数125人] [令和4年度:参加者数236人] ・ノルディック・ウォーキング教室 [平成29年度:参加者数1,554人][平成30年度:参加者数1,191人] [令和元年度:参加者数1,263人][令和2年度:参加者数559人][令和3年度:参加者数221人][令和4年度:参加者数585人] ・ケーブルテレビによる家庭でできるストレッチ体操放送 [令和2年度～令和4年度]</td><td>スポーツ推進委員</td></tr><tr><td>②スポーツによる自己の健康管理の意識付け</td><td>・京丹後チャレンジデー [令和元年度:参加率48.1%][令和3年度:参加率39.4%][令和4年度:参加率57.7%] ・防災行政無線によるラジオ体操放送 [令和2年度～令和4年度] ・市民陸上記録会の開催 [令和3年度:参加者数68人][令和4年度:参加者数96人] ・老人クラブ連合会網野支部による文科省「新体力テスト実施要項」の体力測定会を実施 [平成30年度～令和4年度]</td><td>実行委員会等</td></tr><tr><td>③女性が楽しめる体力づくりの促進</td><td>・京丹後チャレンジデーによる取組（女性連絡協議会による「よさこい」「サザエさん体操」、（赤ちゃんと一緒に体幹体操）、（女性限定のスポーツ教室「ヨガ体験会」） [令和元年度～令和4年度（令和2年度は中止）] ・地域公民館事業 ①成人教育講座:「リフレッシュヨーガ講座」(大宮)[平成30年度:全10回:受講者125人][令和元年度:全7回:受講者108人] 女性のための「健康づくり応援」講座（峰山・大宮合同）[令和4年度:参加者数17人] 「ゆったりヨーガ講座」（大宮）[令和2年度:全6回:受講者68人][令和3年度:全5回:受講生44人][令和4年度:全10回:受講者125人] 「アグレッシブヨーガ講座」（大宮）[令和4年度:全5回:受講者72人]</td><td>生涯学習課 ・各地域公民館</td></tr></table>	取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体	（1）スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進	①スポーツを楽しみながら培う健康・体カづくり	・ニュースポーツ教室：ビーチボールバレー、きばれえ、ユニボッチャ、ファミリーバドミントン等 [平成30年度:参加者数326人][令和元年度:参加者数359人] [令和2年度:参加者数389人][令和3年度:参加者数125人] [令和4年度:参加者数236人] ・ノルディック・ウォーキング教室 [平成29年度:参加者数1,554人][平成30年度:参加者数1,191人] [令和元年度:参加者数1,263人][令和2年度:参加者数559人][令和3年度:参加者数221人][令和4年度:参加者数585人] ・ケーブルテレビによる家庭でできるストレッチ体操放送 [令和2年度～令和4年度]	スポーツ推進委員	②スポーツによる自己の健康管理の意識付け	・京丹後チャレンジデー [令和元年度:参加率48.1%][令和3年度:参加率39.4%][令和4年度:参加率57.7%] ・防災行政無線によるラジオ体操放送 [令和2年度～令和4年度] ・市民陸上記録会の開催 [令和3年度:参加者数68人][令和4年度:参加者数96人] ・老人クラブ連合会網野支部による文科省「新体力テスト実施要項」の体力測定会を実施 [平成30年度～令和4年度]	実行委員会等	③女性が楽しめる体力づくりの促進	・京丹後チャレンジデーによる取組（女性連絡協議会による「よさこい」「サザエさん体操」、（赤ちゃんと一緒に体幹体操）、（女性限定のスポーツ教室「ヨガ体験会」） [令和元年度～令和4年度（令和2年度は中止）] ・地域公民館事業 ①成人教育講座:「リフレッシュヨーガ講座」(大宮)[平成30年度:全10回:受講者125人][令和元年度:全7回:受講者108人] 女性のための「健康づくり応援」講座（峰山・大宮合同）[令和4年度:参加者数17人] 「ゆったりヨーガ講座」（大宮）[令和2年度:全6回:受講者68人][令和3年度:全5回:受講生44人][令和4年度:全10回:受講者125人] 「アグレッシブヨーガ講座」（大宮）[令和4年度:全5回:受講者72人]	生涯学習課 ・各地域公民館	前期実施概要追記
取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体													
（1）スポーツによる市民の健康・体力づくりの促進	①スポーツを楽しみながら培う健康・体カづくり	・ニュースポーツ教室：ビーチボールバレー、きばれえ、ユニボッチャ、ファミリーバドミントン等 [平成30年度:参加者数326人][令和元年度:参加者数359人] [令和2年度:参加者数389人][令和3年度:参加者数125人] [令和4年度:参加者数236人] ・ノルディック・ウォーキング教室 [平成29年度:参加者数1,554人][平成30年度:参加者数1,191人] [令和元年度:参加者数1,263人][令和2年度:参加者数559人][令和3年度:参加者数221人][令和4年度:参加者数585人] ・ケーブルテレビによる家庭でできるストレッチ体操放送 [令和2年度～令和4年度]	スポーツ推進委員													
	②スポーツによる自己の健康管理の意識付け	・京丹後チャレンジデー [令和元年度:参加率48.1%][令和3年度:参加率39.4%][令和4年度:参加率57.7%] ・防災行政無線によるラジオ体操放送 [令和2年度～令和4年度] ・市民陸上記録会の開催 [令和3年度:参加者数68人][令和4年度:参加者数96人] ・老人クラブ連合会網野支部による文科省「新体力テスト実施要項」の体力測定会を実施 [平成30年度～令和4年度]	実行委員会等													
	③女性が楽しめる体力づくりの促進	・京丹後チャレンジデーによる取組（女性連絡協議会による「よさこい」「サザエさん体操」、（赤ちゃんと一緒に体幹体操）、（女性限定のスポーツ教室「ヨガ体験会」） [令和元年度～令和4年度（令和2年度は中止）] ・地域公民館事業 ①成人教育講座:「リフレッシュヨーガ講座」(大宮)[平成30年度:全10回:受講者125人][令和元年度:全7回:受講者108人] 女性のための「健康づくり応援」講座（峰山・大宮合同）[令和4年度:参加者数17人] 「ゆったりヨーガ講座」（大宮）[令和2年度:全6回:受講者68人][令和3年度:全5回:受講生44人][令和4年度:全10回:受講者125人] 「アグレッシブヨーガ講座」（大宮）[令和4年度:全5回:受講者72人]	生涯学習課 ・各地域公民館													

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）			変更理由等
		③女性 が楽しめ る体力 づくりの 促進 ②家庭教育支援基盤形成事業:各地域家庭教育支援チームの取組（子育て広 場リズム体操、親子リフレッシュ体操等） [平成 30 年度:参加者数 1,146 人][令和元年度:参加者数 1,219 人][令和 2 年度:参加者数 813 人][令和 3 年度:参加者数 659 人][令和 4 年度:参 加者数 891 人]	生涯学習課 ・各地域公 民館	
		①高齢 者の生 きがい・ 健康づく りの促進 ・保健師による介護予防体操教室の実施と地区への継続支援 [平成 30 年度～令和 4 年度] ・出前講座（地区サロンで運動教室）[平成 30 年度～令和 4 年度] ・サザエさん体操の紹介、実施[平成 30 年度～令和 4 年度] ・健康ウォーキングイベントの開催[平成 30 年度～令和 4 年度]	健康推進課 ・健康づくり 推進員	
	（２）高 齢者スポー ツの推進	・京丹後市グラウンド・ゴルフ交歓大会（参加者：192 名） [平成 31 年度] ・体育協会各支部で「グラウンド・ゴルフ大会」開催 [平成 30 年度～令和 4 年度]	体育協会 （スポーツ協 会）	
		・シニアスポーツ教室 ①グラウンド・ゴルフとベタンク [平成 30 年度:参加者数 717 人][令和元年度:参加者数 745 人] ②グラウンド・ゴルフの講習及び大会 [令和 2 年度:参加者数 526 人][令和 3 年度:参加者数 421 人][令和 4 年度:参加者数延べ 863 人]	地域公民館	
		・高齢者大学「楽しくできる認知予防体操」 [平成 30 年度:参加者数 57 人] ・高齢者大学教養講座（令和 4 年度） ①歩こう会[峰山:5 回参加者数 15 人][大宮:4 回参加者数 50 人] ②グラウンド・ゴルフ講座[網野:24 回参加者数 34 人] ③山野草ウォーキング講座[網野:6 回参加者数 14 人]山野草ウォーキング 2 講座[網野:6 回参加者数 14 人] ④スローエアロビック講座[丹後:6 回参加者数 77 人] ⑤男のストレッチ体操講座[丹後: 5 回参加者数 30 人] ⑥健康講座（歩こう会）[久美浜:4 回参加者数 76 人]	地域公民館 ・スポーツ 推進委員	
		①体 力・運 動機能 の向上 ・小中学校での体力テストの実施（対象：小学 5 年生、中学 2 年生）[平成 30 年度～令和 4 年度（令和 2 年度は中止）] ・子どもスポーツ推進事業（肘肩検診）等を実施した。 [平成 30 年度、令和元年度] ・青少年スポーツ協会設立[令和 2 年度] ・青少年スポーツ教室の活動 [平成 30 年度:20 種目:67 教室:指導者 381 人:参加児童数 1534]	学校教育課 青少年スポ ーツ協会	

現 行 (第2次計画)	改正案 (第2次計画見直し)			変更理由等
	(3) 子どものスポーツ 機会の充実	①体 力・運 動機能 の向上	人][令和元年度:20 種目:66 教室:指導者 372 人:参加児童数 1493 人][令和 2 年度:20 種目:66 教室:指導者 345 人:参加児童数 1355 人][令和 3 年度:20 種目:65 教室:指導者 353 人:参加児童数 1345 人][令和 4 年度:20 種目:64 教室:指導者 349 人:参加児童数 1282 人] ・青少年スポーツ教室生徒募集チラシの発行[平成 30 年度～令和 4 年度] ・京丹後市ケーブルテレビを通じた広報活動を実施 (撮影希望団体: 8 団体) [令和 4 年度]	青少年スポ ーツ協会
		②学校 体育との 連携	・各小中学校 : 運動会、体育祭、運動部活動他 ・小学校プール	各学校
			・京都サンガ F.C.ふれあいサッカー教室開催 (小学生低学年対象、参加者 数 : 70 人) [令和 3 年度]	青少年スポ ーツ協会
			・市長杯争奪中学校野球大会開催 [平成 30 年度:市内 6 校][令和元年度:市内 6 校][令和 2 年度:市内 5 校][令和 3 年度:市内 5 校][令和 4 年度:市内 5 校] ・はしうど杯卓球選手権大会開催 [平成 30 年度:参加者数 113 人][令和元年度:参加者数 105 人][令和 2 年度:参加者数 90 人][令和 3 年度:参加者数 100 人][令和 4 年度:参加 者数 98 人] ・ジュニアカヌースプリント春季大会開催 [平成 30 年度:中止][令和元年度:参加者数 37 人][令和 2 年度:中 止][令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 39 人] ・ジュニアカヌースプリント秋季大会開催 [平成 30 年度:参加者数 37 人][令和元年度:参加者数 38 人][令和 2 年 度:参加者数 25 人][令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 37 人] ・北近畿中学生ソフトテニス大会開催 [平成 30 年度:参加校 17 校、92 ペア][令和元年度:参加校 14 校、78 ペ	生涯学習課 ・体育協会 (スポーツ協 会)
	③スポー ツ教育 の推進	・野村克也杯学童野球大会開催[平成 30 年度～令和 4 年度 (令和 2 年度 中止)] ・野村克也メモリアル事業「ドリームベースボール (野球教室・試合) 」を開催[令和 4 年度] ・国の方針により部活動地域移行に係る情報収集、情報提供や今後の進め方の 検討[令和 4 年度] ・青少年スポーツ協会による各教室の実態や必要な取組について把握するため、毎 年アンケートを実施[平成 30 年度～令和 4 年度] ・全国大会出場激励会の開催及び出場激励金の交付 [平成 30 年度～令和 4 年度] ・子どもスポーツ推進事業 (肘肩検診) 等の実施[平成 30 年度、令和元年度] ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾カヌーセンターのリニューアル整備[令和 2 年度]	実行委員会 ・生涯学習 課・青少年 スポーツ協会	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）			変更理由等
			年度] ・子どもスポーツ推進事業（肘肩検診）等の実施[平成 30 年度、令和元年度] ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾カヌーセンターのリニューアル整備[令和 2 年度]	
			・各地区競技大会 ＜峰山町＞ 町民ソフトテニス大会、グラウンド・ゴルフ春季大会、ゲートボールさつき杯大会、峰山町スポーツ祭典、市長杯 ゴルフ大会、上山杯兼絆杯柔道大会、グラウンド・ゴルフ秋季大会 ＜大宮町＞ 春季ゲートボール大会、大宮町民ゴルフ大会、前期ソフトバレーボール大会、町民グラウンド・ゴルフ大会、バドミントン大会、大宮町体育大会、前期バレーボール大会、ソフトテニス大会、一般男子ソフトボール大会、軟式野球選手権大会、支部長杯ゴルフ大会、親善ゲートボール大会、ミックスダブルステニス大会、親善卓球大会、後期ソフトバレーボール大会、一周駅伝競走大会、後期バレーボール大会、男子地区対抗バレーボール大会、家庭婦人地区対抗バレーボール大会 ＜網野町＞ グランドゴルフ大会、テニス教室・大会、野球大会、バドミントン教室、八丁浜ンニング DAY、オープンフットサル大会、町民バスケットボール大会、あみの八丁浜ロードレース大会 ＜丹後町＞ 地区対抗ソフトボール大会、町内優勝野球（盆野球）、支部長杯グラウンド・ゴルフ大会、地区対抗駅伝競走大会、地区対抗ゲートボール大会 ＜弥栄町＞ 地区対抗野球大会、弥栄町バスケットボール大会、地区対抗卓球大会、グラウンド・ゴルフ春季大会・秋季大会、地区対抗ソフトボール大会、ゲートボール選手権大会、ソフトバレーボール夏の大会・冬の大会 ＜久美浜＞ 春季グラウンド・ゴルフ大会、ゲートボール春季・秋季選手大会、春季・秋季ソフトボール選手権大会、レディスグランドゴルフ交流大会、旧村対抗ゴルフ大会、町民グランドゴルフ交流大会、町内バレーボール大会、町内バスケットボール大会、新春初打ゲートボール ・SUP 大会に合わせ体験会を開催[令和元年度～令和 4 年度] ・京丹後市総合体育大会を開催 [平成 30 年度～令和 4 年度] ・京丹後チャレンジデーの開催やノルディックウォーキング教室、ニュースポーツ教室の開催（再掲） ・公共体育施設市民無料開放の実施[令和 2 年 8 月～令和 5 年 3 月末まで]	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																	
	<table><tr><td>②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援</td><td>・総合型地域スポーツクラブ[※]による各種活動（京都府登録団体：3 団体：久美浜、網野、三遊）</td><td>各総合型地域スポーツクラブ</td></tr><tr><td>③障害者のスポーツ活動の推進</td><td>・視覚障害者交流研修会（カローリング）開催[令和3 年度：視覚障害者 9 人][令和4 年度：視覚障害者 13 人] ・障害者スポーツ事業講演会開催「共生社会[※]（配慮はするけど遠慮はしない）を実現するため」（パラソウル大会陸上金メダリスト：永尾由美氏））[平成30 年度：来場者 1 1 0 人] ・スポーツのバリアフリー講習会開催「バラスポーツの魅力と可能性-共生社会の実現に向け-」（大阪体育大高橋教授）[令和元年度：参加者数 54 人] ・バラスポーツ体験会開催（内容：車いす競技（バスケット、ソフトボール、アメリカンフットボール）やボッチャ体験会などのバラスポーツを体験した、講師：坂根泰子氏（アテネオリンピック日本代表））[令和2 年度][令和3 年度：参加者数 76 人][令和4 年度：参加者数：50 人] ・バラスポーツ講演会開催（内容：「あきらめたことをあきらめない」講師：辰巳博美氏（東京パラリンピックカヌー日本代表））[令和4 年度：参加者数 50 人] ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾カヌーセンターの整備（誰もが競技ができる環境）[令和2 年度]</td><td>スポーツ推進委員・体育協会（スポーツ協会）・生涯学習課</td></tr></table> ＜基本目標2＞スポーツ競技力の向上 <table><tr><th>取組の方向</th><th>施策名</th><th>事業実施内容</th><th>関係団体</th></tr><tr><td rowspan="2">（1）競技力の向上</td><td>①ホストタウンの取組と国際大会の開催</td><td>・東京 2020 オリンピックホストタウン[※]として、カヌー競技の事前合宿を久美浜湾カヌー競技場で受入実施。（スペイン：17 人、ポルトガル:11 人、7 月 18 日～7 月 28 日の 11 日間）[令和3 年度] ・令和元年 5 月、ワールドマスターズゲームズ（以下「WMG」）実行委員会を設立し、WMG2021 関西に向けた取組を開始。 ・WMG2021 関西プレ大会（SUP 大会及び無料体験会、カヌーマラソン）開催[令和2 年度：参加者数 89 人、令和3 年度（カヌーマラソンは中止）、令和4 年度：参加者数 97 人]※WMG 関西本大会は 2027 年に延期</td><td>生涯学習課 ・実行委員会</td></tr><tr><td>②ジュニアアスリートの養成</td><td>・子どもスポーツ推進事業[令和元年度:「メンタルトレーニングから学ぶアスリート育成及び子育て講演会」] ・青少年スポーツ協会設立[令和2 年度] ・青少年スポーツ協会加盟団体[令和2 年度:66 団体、参加児童数 1,355 人][令和3 年度:65 団体、参加児童数 1,345 人][令和4 年度:64 団体、参加児童数 1,282 人]</td><td>青少年スポーツ協会他</td></tr></table>	②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援	・総合型地域スポーツクラブ [※] による各種活動（京都府登録団体：3 団体：久美浜、網野、三遊）	各総合型地域スポーツクラブ	③障害者のスポーツ活動の推進	・視覚障害者交流研修会（カローリング）開催[令和3 年度：視覚障害者 9 人][令和4 年度：視覚障害者 13 人] ・障害者スポーツ事業講演会開催「共生社会 [※] （配慮はするけど遠慮はしない）を実現するため」（パラソウル大会陸上金メダリスト：永尾由美氏））[平成30 年度：来場者 1 1 0 人] ・スポーツのバリアフリー講習会開催「バラスポーツの魅力と可能性-共生社会の実現に向け-」（大阪体育大高橋教授）[令和元年度：参加者数 54 人] ・バラスポーツ体験会開催（内容：車いす競技（バスケット、ソフトボール、アメリカンフットボール）やボッチャ体験会などのバラスポーツを体験した、講師：坂根泰子氏（アテネオリンピック日本代表））[令和2 年度][令和3 年度：参加者数 76 人][令和4 年度：参加者数：50 人] ・バラスポーツ講演会開催（内容：「あきらめたことをあきらめない」講師：辰巳博美氏（東京パラリンピックカヌー日本代表））[令和4 年度：参加者数 50 人] ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾カヌーセンターの整備（誰もが競技ができる環境）[令和2 年度]	スポーツ推進委員・体育協会（スポーツ協会）・生涯学習課	取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体	（1）競技力の向上	①ホストタウンの取組と国際大会の開催	・東京 2020 オリンピックホストタウン [※] として、カヌー競技の事前合宿を久美浜湾カヌー競技場で受入実施。（スペイン：17 人、ポルトガル:11 人、7 月 18 日～7 月 28 日の 11 日間）[令和3 年度] ・令和元年 5 月、ワールドマスターズゲームズ（以下「WMG」）実行委員会を設立し、WMG2021 関西に向けた取組を開始。 ・WMG2021 関西プレ大会（SUP 大会及び無料体験会、カヌーマラソン）開催[令和2 年度：参加者数 89 人、令和3 年度（カヌーマラソンは中止）、令和4 年度：参加者数 97 人]※WMG 関西本大会は 2027 年に延期	生涯学習課 ・実行委員会	②ジュニアアスリートの養成	・子どもスポーツ推進事業[令和元年度:「メンタルトレーニングから学ぶアスリート育成及び子育て講演会」] ・青少年スポーツ協会設立[令和2 年度] ・青少年スポーツ協会加盟団体[令和2 年度:66 団体、参加児童数 1,355 人][令和3 年度:65 団体、参加児童数 1,345 人][令和4 年度:64 団体、参加児童数 1,282 人]	青少年スポーツ協会他	
②「総合型地域スポーツクラブ」の育成・支援	・総合型地域スポーツクラブ [※] による各種活動（京都府登録団体：3 団体：久美浜、網野、三遊）	各総合型地域スポーツクラブ																	
③障害者のスポーツ活動の推進	・視覚障害者交流研修会（カローリング）開催[令和3 年度：視覚障害者 9 人][令和4 年度：視覚障害者 13 人] ・障害者スポーツ事業講演会開催「共生社会 [※] （配慮はするけど遠慮はしない）を実現するため」（パラソウル大会陸上金メダリスト：永尾由美氏））[平成30 年度：来場者 1 1 0 人] ・スポーツのバリアフリー講習会開催「バラスポーツの魅力と可能性-共生社会の実現に向け-」（大阪体育大高橋教授）[令和元年度：参加者数 54 人] ・バラスポーツ体験会開催（内容：車いす競技（バスケット、ソフトボール、アメリカンフットボール）やボッチャ体験会などのバラスポーツを体験した、講師：坂根泰子氏（アテネオリンピック日本代表））[令和2 年度][令和3 年度：参加者数 76 人][令和4 年度：参加者数：50 人] ・バラスポーツ講演会開催（内容：「あきらめたことをあきらめない」講師：辰巳博美氏（東京パラリンピックカヌー日本代表））[令和4 年度：参加者数 50 人] ・京丹後はごろも陸上競技場、久美浜湾カヌーセンターの整備（誰もが競技ができる環境）[令和2 年度]	スポーツ推進委員・体育協会（スポーツ協会）・生涯学習課																	
取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体																
（1）競技力の向上	①ホストタウンの取組と国際大会の開催	・東京 2020 オリンピックホストタウン [※] として、カヌー競技の事前合宿を久美浜湾カヌー競技場で受入実施。（スペイン：17 人、ポルトガル:11 人、7 月 18 日～7 月 28 日の 11 日間）[令和3 年度] ・令和元年 5 月、ワールドマスターズゲームズ（以下「WMG」）実行委員会を設立し、WMG2021 関西に向けた取組を開始。 ・WMG2021 関西プレ大会（SUP 大会及び無料体験会、カヌーマラソン）開催[令和2 年度：参加者数 89 人、令和3 年度（カヌーマラソンは中止）、令和4 年度：参加者数 97 人]※WMG 関西本大会は 2027 年に延期	生涯学習課 ・実行委員会																
	②ジュニアアスリートの養成	・子どもスポーツ推進事業[令和元年度:「メンタルトレーニングから学ぶアスリート育成及び子育て講演会」] ・青少年スポーツ協会設立[令和2 年度] ・青少年スポーツ協会加盟団体[令和2 年度:66 団体、参加児童数 1,355 人][令和3 年度:65 団体、参加児童数 1,345 人][令和4 年度:64 団体、参加児童数 1,282 人]	青少年スポーツ協会他																

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）				変更理由等
	（１）競技力の向上	②ジュニアアスリートの養成	・令和４年度大会等 丹後小学生陸上競技大会・塩見杯争奪体操競技、新体操大会・市長杯争奪学童大会少年野球・京都府剣道道場連盟丹後地区少年剣道錬成大会・マルハンカップ学童野球大会・京都サンガFCビーチサッカーフェスタ2022in 網野・京丹後ボーイズ親善大会・中野真理子杯京丹後市小学生バレーボール大会・丹後中央ライオンズクラブ小学生バレーボール大会・JFA キッズ&レディース/ガールズ サッカーフェスティバル・京丹後市少年剣道大会（杉本杯）・京都府北部小学生クラブ陸上記録会・網野カップ少年サッカー大会・平野杯少年少女学童野球大会・京丹後市小学生バレーボール大会 4・5・6 年生の部・マルハンカップ学童野球大会・海の京都 KIDS・U-13 陸上競技大会・北丹駅伝競走大会	青少年スポーツ協会他	
		③学校部活動からの競技力の向上	・市長杯争奪中学生野球大会や北近畿中学生ソフトテニス大会、はしうど杯卓球選手権大会、カヌースプリント春季・秋季大会を開催（再掲） ・野村克也メモリアル事業（野球教室（参加者 59 人）及び講演会（300 人）の開催[令和 3 年度] ・中学校部活動への部活動指導員の配置 ・部活動地域移行の検討[令和 4 年度]（再掲）	生涯学習課等	
			・京丹後市総合体育大会[平成 29 年度～令和 4 年度（令和 2 年度は代替大会（7 競技）、令和 3 年度中止] ・府民総体[平成 29 年度～令和 4 年度（令和 2 年度は未実施、令和 3 年度は交流大会（5 競技中止））] [15 競技団体] :テニス競技（マスタース大会）、グラウンド・ゴルフ競技（マスタース大会）、バスケットボール競技、ソフトボール競技（男女）（マスタース大会（男女））、ゲートボール競技（マスタース大会）、ソフトテニス競技（マスタース大会）、軟式野球競技（マスタース大会）、陸上競技（マスタース大会）、ソフトバレー ボール競技、ボウリング競技、ゴルフ競技、サッカー競技（マスタース大会）、バドミントン競技（マスタース大会）、バレーボール競技（男女）、駅伝競走競技 ・体育協会の法人化による組織強化 [令和 4 年度～一般社団法人スポーツ協会]	体育協会（スポーツ協会）	
	（２）指導者の育成・確保	①人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実	・青少年スポーツ協会設立[令和 2 年度]（再掲） ・スポーツ指導者研修会を年 2 回開催 ①「ケガをしない心体づくり」「欲張りエクササイズ」[令和元年、令和 2 年度、令和 4 年度] ②「かんたん体幹トレーニング」[平成 30 年度] ③「予防、再発予防テーピング」[令和元年度、令和 3 年度] ④「正しく恐れる新型コロナウイルス感染症」[令和 2 年度] ⑤「スロートレーニング」[令和 3 年度]	体育協会（スポーツ協会） ・青少年スポーツ協会	

現 行 (第2次計画)		改正案 (第2次計画見直し)			変更理由等
		(2) 指導者の育成・確保	①人材の育成や発掘・確保と活用体制の充実	・「指導者研修会」開催 ①「少年野球を取り巻く課題と今後のあり方」[平成 30 年度] ②「京丹後の子ども達『怪我予防』と『リハビリ』について」参加者数:41 人 [令和 2 年度] ③「子ども達のパフォーマンスを発揮するためのメンタルトレーニング」参加者数：42 人 [令和 4 年度] ・普通救命講習会の開催：参加者数 21 人[令和 4 年度] ・体育協会の法人化による組織強化 [令和 4 年度～一般社団法人スポーツ協会] (再掲)	体育協会 (スポーツ協会) ・青少年スポーツ協会
			②指導力の向上	・「スポーツ指導者への指導方法」講習会開催[平成 29 年度] ・「指導者におけるリーダーシップ」講演会開催 (講師:立命館大学山浦教授) 参加者数:31 人[令和 3 年度] ・スポーツジュニア食育講習会開催 (内容:スポーツを頑張る子ども達の身体づくり、食事作りについて、対象:スポーツ指導者、保護者等) 参加者数:15 人[令和 3 年度]、参加者数:30 人[令和 4 年度]	体育協会 (スポーツ協会) ・青少年スポーツ協会
			③スポーツ推進委員の活動ならびに資質の向上	・スポーツ推進委員による各種研究大会へ参加[平成 29 年度～令和 4 年度 (令和 3 年度、令和 2 年度除く)] ・地区活動や PTA 行事、高齢者大学などにおけるスポーツ指導の実施 [平成 29 年度～令和 4 年度 (令和 3 年度、令和 2 年度除く)]	スポーツ推進委員
			＜基本目標3＞スポーツ・レクリエーション環境の整備・充実		
		取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体
(1) 身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備、充実	①社会体育用学校開放施設事業の推進	・市民の身近な施設である学校体育施設 (体育館、グラウンド) の開放及び維持管理[R4 現在：小学校 17 校、中学校 6 校] ・公共体育施設市民無料開放の実施[令和 2 年 8 月～令和 5 年 3 月末まで]	生涯学習課		
	②社会体育施設の配置と利用サービスの向上	・スポーツ活動の拠点施設として社会体育施設を維持管理[R4 現在:41 施設] ・公共体育施設市民無料開放の実施[令和 2 年 8 月～令和 5 年 3 月末まで] ・競技団体や地域の理解のもと、利用が少ない社会体育施設 (12 施設) を廃止[平成 30 年度、令和 3 年度] ・現行の「京都府・市町村共同公共案内予約システム」に変わる、より利便性の高い新システムの導入検討 [R4 年度]	生涯学習課		
		・京丹後はごろも陸上競技場を日本陸連第 3 種公認競技場としリニューアル整			

現 行（第2次計画）		改正案（第2次計画見直し）			変更理由等	
		（１）身近で利用しやすいスポーツ・レクリエーション施設の整備、充実	③スポーツしやすい環境の整備	備[平成 30 年度～令和 2 年度] ・久美浜湾カヌー競技場 1000m コース整備[令和元年] ・久美浜湾カヌーセンター整備（カヌー艇庫のほか多目的トイレや車いす対応のシャワー室等完備）[令和 2 年度] ・社会体育館照明の LED 化（大宮社会体育館、網野体育センター、丹後社会体育館、弥栄総合運動公園社会体育館）[令和 4 年度]	生涯学習課	
		（２）スポーツ施設等の管理運営	①管理運営体制の強化	・峰山途中ケ丘公園・峰山総合公園・八丁浜シーサイドパーク：指定管理者制度による民間団体による管理運営 ・久美浜湾カヌーセンター：久美浜カヌークラブに委託管理	生涯学習課 ・指定管理者	
			②スポーツ施設予約システムの充実	・現行の「京都府・市町村共同公共案内予約 システム」に変わる、より利便性の高い新システムの導入検討 [R4 年度] ・観光関係者や競技団体等と連携したスポーツ合宿の誘致[令和 4 年度:9 施設（9 団体 17 日 408 人）]	生涯学習課	
			③競技系専門施設の利活用の促進	・京丹後はごろも陸上競技場を日本陸連第 3 種公認競技場としリニューアル整備[平成 30 年度～令和 2 年度] ・久美浜湾カヌー競技場 1000m コース整備[令和元年度] ・久美浜湾カヌーセンター 整備（カヌー艇庫のほか多目的トイレや車いす対応のシャワー室等完備）[令和 2 年度] ・京丹後はごろも陸上競技場で 7 大会、久美浜湾カヌー競技場で 6 大会、計 13 大会を新たに誘致。	生涯学習課等	
		＜基本目標4＞スポーツ観光のまちづくり				
		取組の方向	施策名	事業実施内容	関係団体	
		（１）滞在型スポーツ観光の促進	①スポーツイベントやアクティビティの活用	・100 k mウルトラマラソン[平成 30 年度:参加者数 3,392 人][令和元年度:参加者数 3,340 人][令和 2 年度、令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 2,189 人] ・ドラゴンカヌー選手権大会[平成 30 年度:参加者数 1,092 人][令和元年度:参加者数 1,008 人][令和 2 年度、令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 540 人] ・関西学生対校駅伝競走大会[平成 30 年度:参加者数 444 人][令和元年度:参加者数 384 人][令和 2 年度、令和 3 年度:中止][令和 4 年度:参加者数 192 人] ・関西の学生ランナーが全国から注目していただける環境づくりを支援するため、読売テレビによる地上波でのテレビ放送を実施。視聴率 1.9%[令和 2 年度][令和 3 年度][令和 4 年度]	実行委員会 ・体育協会 （スポーツ協会）	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）				変更理由等
	（１）滞 在型スポー ツ観光の促 進	①スポー ツイベン トやアク ティビティ の活用	・TANTAN 〇ンカライト〔平成 30 年度:参加者数 1,745 人〕〔令和元年度:参加者数 1,784 人〕〔令和 2 年度、令和 3 年度、令和 4 年度:中止〕 ・久美浜湾一周駅伝〔平成 30 年度:参加者数 444 人〕〔令和元年度:参加者数 384 人〕〔令和 2 年度、令和 3 年度:中止〕〔令和 4 年度:参加者数 192 人〕 ・あみの八丁浜ロードレース大会〔平成 30 年度:参加者数 548 人〕〔令和元年度:参加者数 500 人〕〔令和 2 年度、令和 3 年度:中止〕	実行委員会 ・体育協会 （スポーツ協会）	
			・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、ドイツカヌー代表チーム（選手 6・コーチ 2）のトレーニングキャンプ（10 月）を受入れ、また、合宿候補地として、各国の視察を受入れた。〔平成 30 年度〕 ・ホストタウン推進事業として、韓国ソリョン高校、韓国カヌー連盟との交流。〔平成 30 年度〕	生涯学習課	
			・スポーツイベント開催による宿泊促進	観光公社	
	（２）スポ ーツ観光の 情報発信	①スポーツ 観光の情 報発信	・広域連携によるメリットを活かした情報発信（SNS 等）を実施。（海の京都 DMO、市観光公社等）	観光公社	
		②競技 スポーツ 情報の 提供	・広報誌「たいきょう ひとつとこむ」を年 3 回発行	体育協会 （スポーツ協会）	
			・スポーツイベントを通じて、本市の魅力発信に繋げた。（市広報誌「KYOTANGO SPORTS」、SNS 等）	生涯学習課	
	（３）交 流促進	①スポー ツを通し た交流 促進	・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、ドイツカヌー代表チーム（選手 6・コーチ 2）のトレーニングキャンプ（10 月）を受入れ、また、合宿候補地として、各国の視察を受入れた。〔平成 30 年度〕（再掲） ・ホストタウン推進事業として、韓国ソリョン高校、韓国カヌー連盟との交流。〔平成 30 年度〕（再掲） ・WMG2021 関西におけるカヌーマラソン競技会場として、スペインチームの事前合宿地候補として、国際カヌー連盟会長（スペインカヌー連盟会長）の視察を受入れた。〔平成 30 年度〕 ・東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向け、2 月にはスペインカヌーチーム代表監督の事前視察（2/10～2/13）を受入れたが、コロナによりオリンピックが延期となった。〔令和元年度〕 ・「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」に向けたテストイベントとして全国で初めてとなる高校生カヌーの長距離全国大会を誘致し開催。〔令和 2 年度〕 ・WMG2021 関西は、当初令和 3 年 5 月の開催であったが、コロナの影響により、令和 9 年 5 月に延期	生涯学習課	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）				変更理由等
	(3) 交 流促進	①スポー ツを通し た交流 促進	・網野スポーツクラブによるスポーツイベント（サッカー大会等）の開催[平成 30 年度:参加者数 3,086 人][令和元年度:参加者数 2,882 人][令和 2 年 度:参加者数 70 人][令和 3 年度:参加者数 1,706 人][令和 4 年度:参加 者数 3,240 人]	生涯学習課	
		②スポー ツにおけ る広域 連携	・外国人受け入れ体制強化:外国語セミナー（英語:成人 14 人）（キッズ 28 人）（英語落語約 30 人）（韓国語は 6 人）を実施。[平成 30 年度] ・途中ヶ丘陸上競技場のリニューアル後、陸上競技選手権大会等新たな大会を 誘致できた[令和 3 年度:5 大会、令和 4 年度:3 大会] ・カヌーセンターの整備と合わせ SUP 等の大会を誘致（令和 2 年度～） ・カヌー関連の大会誘致:R3 はコロナの影響があり 3 大会で 650 人。R4 年度 は、5 大会で 3,178 人 ・合宿誘致による社会体育施設の合宿利用は減少[平成 30 年度:6 施設 （27 団体 89 日 1,316 人）][令和元年度:4 施設（14 団体 40 日 565 人）][令和 2 年度:4 施設（4 団体 7 日 110 人）][令和 3 年度:3 施設 （3 団体 4 日 93 人）][令和 4 年度:9 施設（9 団体 17 日 408 人）]	生涯学習課	
		③スポー ツを活 用した 総合的 なまちづ くりの推 進	・教育委員会部局と市長部局に分かれていた社会体育、スポーツ大会を所管す る部署を一本化するため、平成 30 年 4 月に教育委員会内に「スポーツ推進 室」を設置。 ・ワールドマスターズゲームズのプレ大会を実施（知名度向上と機運醸成に向け た取組を展開）[平成 30 年度～令和 4 年度]	生涯学習課	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等						
	スポーツに関する市民意識調査結果 （1）調査の目的 この調査は、平成29年度に策定した第2次京丹後市スポーツ推進計画の中間見直しにあたり、その基礎資料とするために、市民のスポーツの活動状況や、スポーツに対する意向などを把握することを目的に、現状の課題などについて市民に対しアンケート形式で調査を実施しました。 （2）調査の項目 ○健康状態について ○運動やスポーツの実施状況について ○スポーツに関するボランティア活動について ○京丹後市のスポーツ施策について ○スポーツに関する情報について ○現在の子どもを取り巻く環境について ○回答者自身について ○自由意見 ○総括 （3）調査設計 ・ 調査地域 ：市内全域 ・ 調査対象 ：市内に在住する18歳～79歳の市民 ・ 標本数 ：2,000人 ・ 抽出方法 ：住民基本台帳から無作為抽出 ・ 調査方法 ：郵送配布、郵送回収による調査 ・ 調査期間 ：令和4年9月22日～令和4年11月11日 （4）回収状況 <table><tr><th>調査対象者数</th><th>回収件数（率）</th><th>有効回収件数（率）</th></tr><tr><td>2,000人</td><td>1,021件(51.1%)</td><td>1,020件(51.0%)</td></tr></table> （5）調査結果の見方 ○本文中および図中に示した集計結果は、その質問の回答者数を基数（N）として算出し、百分率（%）で示しています。 ○集計結果は小数点第2位で四捨五入しているため、回答比率の合計が100.0%とならない場合があります。 ○複数回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがあります。また、グラフには「MA%」（複数回答）を付記しています。 ○図では、コンピュータの都合上、回答選択を短縮して記載している場合があります。 ○本文中にある「過去調査」とは、平成24年度及び平成28年度に実施した「京丹後市スポーツ推進計画見直しに関するアンケート調査」をさします。	調査対象者数	回収件数（率）	有効回収件数（率）	2,000人	1,021件(51.1%)	1,020件(51.0%)	市民意識調査結果追加
調査対象者数	回収件数（率）	有効回収件数（率）						
2,000人	1,021件(51.1%)	1,020件(51.0%)						

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																						
	①健康について ○健康について感じていることは、「どちらかといえば健康である」が51.6%と最も多く、次いで「健康である」が29.0%、「どちらかといえば健康でない」が14.7%、「健康でない」が4.5%となっています。 ○健康について感じていることを、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツをしている頻度が高い人ほど、「健康である」と「どちらかといえば健康である」を合わせた割合（『健康である』）が多くなっています。 ○前回調査と比較すると『健康である』の割合は4.7%増加しています。 健康について感じていること <table><thead><tr><th>運動やスポーツの取り組み方</th><th>健康である</th><th>どちらかといえば健康である</th><th>どちらかといえば健康でない</th><th>健康でない</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>運動やスポーツを日常的にしている【N=148】</td><td>50.0%</td><td>40.5%</td><td>6.1%</td><td>2.7%</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>運動やスポーツを時々している【N=242】</td><td>33.5%</td><td>54.1%</td><td>10.3%</td><td>2.1%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>運動やスポーツをしたいが、なかなかできない【N=445】</td><td>21.8%</td><td>55.3%</td><td>16.9%</td><td>5.8%</td><td>0.2%</td></tr><tr><td>運動やスポーツに関心がない【N=169】</td><td>23.7%</td><td>46.7%</td><td>23.1%</td><td>6.5%</td><td>0.0%</td></tr></tbody></table> 健康について感じていること/運動やスポーツの取り組み方 <table><thead><tr><th>健康状態</th><th>平成24年度【N=1919】</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr></thead><tbody><tr><td>健康である</td><td>27.6%</td><td>24.3%</td><td>29.0%</td></tr><tr><td>どちらかといえば健康である</td><td>52.0%</td><td>53.7%</td><td>51.6%</td></tr><tr><td>どちらかといえば健康でない</td><td>15.1%</td><td>16.6%</td><td>14.7%</td></tr><tr><td>健康でない</td><td>4.3%</td><td>4.7%</td><td>4.5%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>1.0%</td><td>0.6%</td><td>0.2%</td></tr></tbody></table>	運動やスポーツの取り組み方	健康である	どちらかといえば健康である	どちらかといえば健康でない	健康でない	無回答	運動やスポーツを日常的にしている【N=148】	50.0%	40.5%	6.1%	2.7%	0.7%	運動やスポーツを時々している【N=242】	33.5%	54.1%	10.3%	2.1%	0.0%	運動やスポーツをしたいが、なかなかできない【N=445】	21.8%	55.3%	16.9%	5.8%	0.2%	運動やスポーツに関心がない【N=169】	23.7%	46.7%	23.1%	6.5%	0.0%	健康状態	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	健康である	27.6%	24.3%	29.0%	どちらかといえば健康である	52.0%	53.7%	51.6%	どちらかといえば健康でない	15.1%	16.6%	14.7%	健康でない	4.3%	4.7%	4.5%	無回答	1.0%	0.6%	0.2%	
運動やスポーツの取り組み方	健康である	どちらかといえば健康である	どちらかといえば健康でない	健康でない	無回答																																																			
運動やスポーツを日常的にしている【N=148】	50.0%	40.5%	6.1%	2.7%	0.7%																																																			
運動やスポーツを時々している【N=242】	33.5%	54.1%	10.3%	2.1%	0.0%																																																			
運動やスポーツをしたいが、なかなかできない【N=445】	21.8%	55.3%	16.9%	5.8%	0.2%																																																			
運動やスポーツに関心がない【N=169】	23.7%	46.7%	23.1%	6.5%	0.0%																																																			
健康状態	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																																					
健康である	27.6%	24.3%	29.0%																																																					
どちらかといえば健康である	52.0%	53.7%	51.6%																																																					
どちらかといえば健康でない	15.1%	16.6%	14.7%																																																					
健康でない	4.3%	4.7%	4.5%																																																					
無回答	1.0%	0.6%	0.2%																																																					

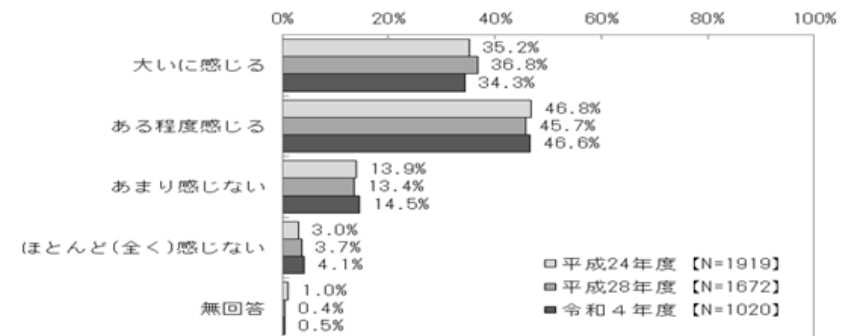
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																						
	○体力について感じていることは、「どちらかといえば体力に不安がある」が43.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば体力に自信がある」が37.8%、「体力に不安がある」が12.8%、「体力に自信がある」が5.8%となっています。 ○体力について感じることを、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツをしている頻度が高い人ほど、「体力に自信がある」と「どちらかといえば体力に自信がある」を合わせた割合（『体力に自信がある』）が多くなっています。 ○前回調査と比較すると、『体力に自信がある』はわずかに増加していますが、『体力に不安がある』も増加しています。 体力について感じていること <table><thead><tr><th>Category</th><th>平成24年度【N=1919】</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr></thead><tbody><tr><td>体力に自信がある</td><td>5.3%</td><td>5.4%</td><td>5.8%</td></tr><tr><td>どちらかといえば体力に自信がある</td><td>39.4%</td><td>39.8%</td><td>37.8%</td></tr><tr><td>どちらかといえば体力に不安がある</td><td>43.1%</td><td>43.1%</td><td>43.2%</td></tr><tr><td>体力に不安がある</td><td>10.8%</td><td>11.3%</td><td>12.8%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>1.3%</td><td>0.4%</td><td>0.3%</td></tr></tbody></table> 体力について感じていること/運動やスポーツの取り組み方 <table><thead><tr><th>Group</th><th>体力に自信がある</th><th>どちらかといえば体力に自信がある</th><th>どちらかといえば体力に不安がある</th><th>体力に不安がある</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>運動やスポーツを日常的にしている【N=148】</td><td>17.6%</td><td>50.0%</td><td>26.4%</td><td>5.4%</td><td>0.7%</td></tr><tr><td>運動やスポーツを時々している【N=242】</td><td>4.5%</td><td>51.7%</td><td>38.4%</td><td>5.4%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>運動やスポーツをしたいが、なかなかできない【N=445】</td><td>3.4%</td><td>32.1%</td><td>48.5%</td><td>15.5%</td><td>0.4%</td></tr><tr><td>運動やスポーツに関心がない【N=169】</td><td>3.0%</td><td>24.3%</td><td>51.5%</td><td>21.3%</td><td>0.0%</td></tr></tbody></table>	Category	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	体力に自信がある	5.3%	5.4%	5.8%	どちらかといえば体力に自信がある	39.4%	39.8%	37.8%	どちらかといえば体力に不安がある	43.1%	43.1%	43.2%	体力に不安がある	10.8%	11.3%	12.8%	無回答	1.3%	0.4%	0.3%	Group	体力に自信がある	どちらかといえば体力に自信がある	どちらかといえば体力に不安がある	体力に不安がある	無回答	運動やスポーツを日常的にしている【N=148】	17.6%	50.0%	26.4%	5.4%	0.7%	運動やスポーツを時々している【N=242】	4.5%	51.7%	38.4%	5.4%	0.0%	運動やスポーツをしたいが、なかなかできない【N=445】	3.4%	32.1%	48.5%	15.5%	0.4%	運動やスポーツに関心がない【N=169】	3.0%	24.3%	51.5%	21.3%	0.0%	
Category	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																																					
体力に自信がある	5.3%	5.4%	5.8%																																																					
どちらかといえば体力に自信がある	39.4%	39.8%	37.8%																																																					
どちらかといえば体力に不安がある	43.1%	43.1%	43.2%																																																					
体力に不安がある	10.8%	11.3%	12.8%																																																					
無回答	1.3%	0.4%	0.3%																																																					
Group	体力に自信がある	どちらかといえば体力に自信がある	どちらかといえば体力に不安がある	体力に不安がある	無回答																																																			
運動やスポーツを日常的にしている【N=148】	17.6%	50.0%	26.4%	5.4%	0.7%																																																			
運動やスポーツを時々している【N=242】	4.5%	51.7%	38.4%	5.4%	0.0%																																																			
運動やスポーツをしたいが、なかなかできない【N=445】	3.4%	32.1%	48.5%	15.5%	0.4%																																																			
運動やスポーツに関心がない【N=169】	3.0%	24.3%	51.5%	21.3%	0.0%																																																			

○運動不足を感じているかどうかは、「ある程度感じる」が46.6%と最も多く、次いで「大いに感じる」が34.3%、「あまり感じない」が14.5%、「ほとんど(全く)感じない」が4.1%となっています。

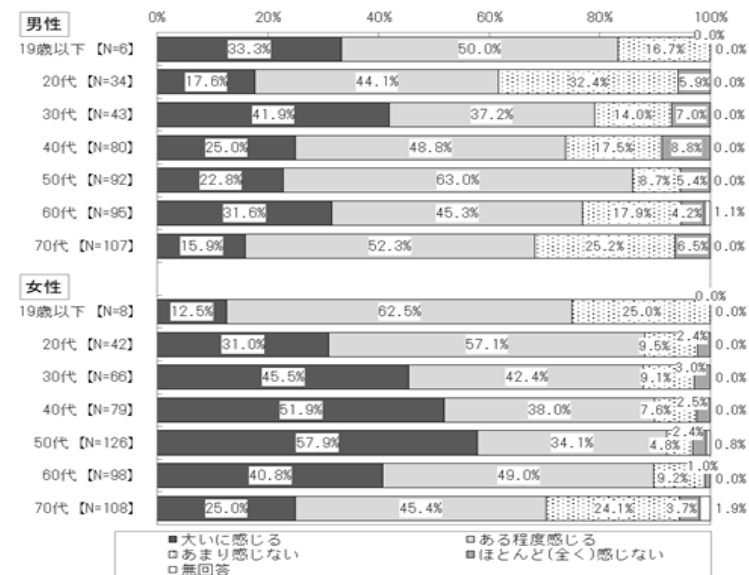
○運動不足を感じていることを、男女別・年代別にみると、「大いに感じる」は、男性では30代が最も多く、女性では50代が約6割に上っています。

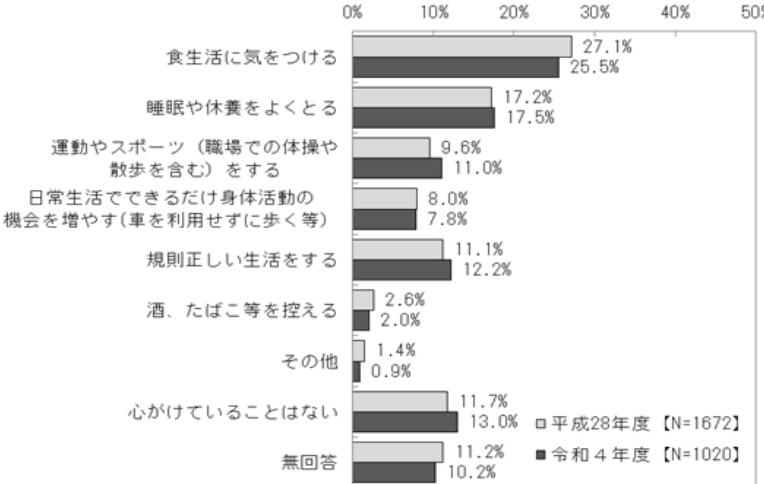
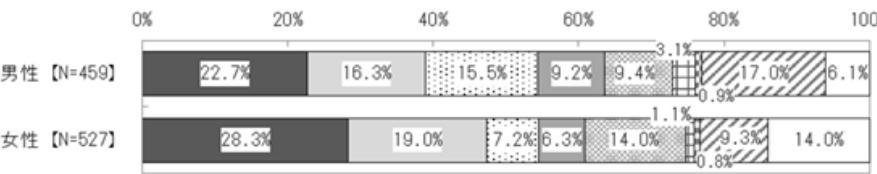
○前回調査と比較すると、「大いに感じる」はわずかに減少しています。

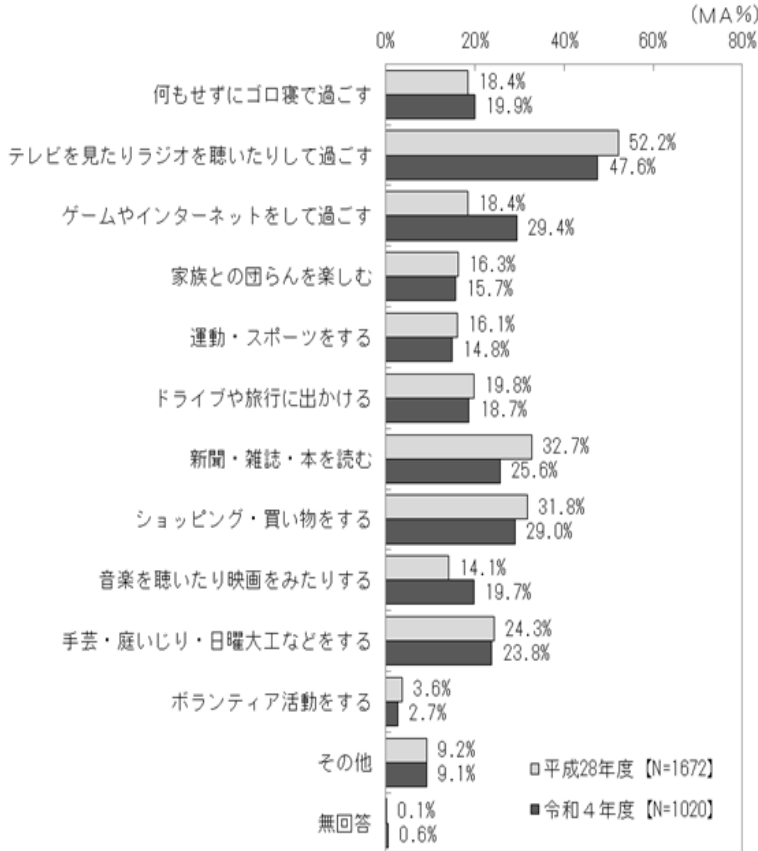
運動不足を感じているか

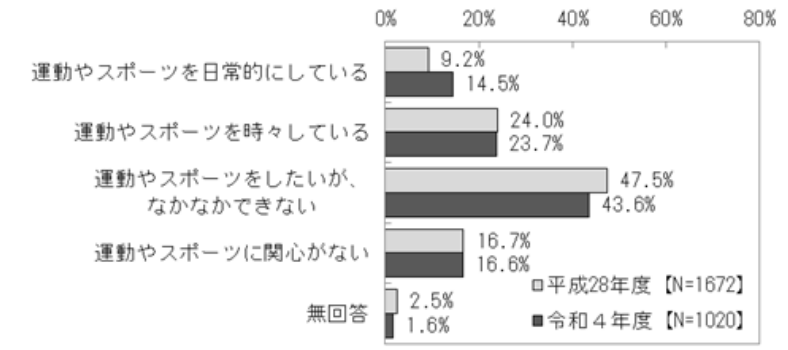
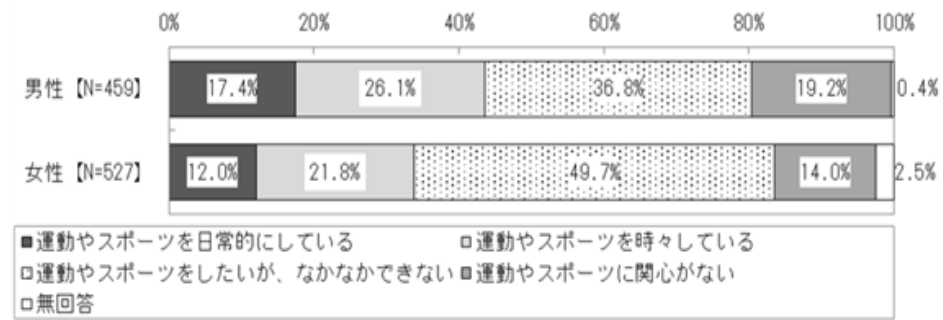


運動不足を感じているか/男女別・年代別



現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																												
	○健康管理や体力の保持増進のために、心がけていることは、「食生活に気をつける」が25.5%と最も多く、次いで「睡眠や休養をよくとる」が17.5%、「心がけていることはない」が13.0%などとなっています。「運動やスポーツをする」は11.0%にとどまっています。 ○前回調査と比較すると、「食生活に気をつける」は減少し、「運動やスポーツ（職場での体操や散歩を含む）をする」がわずかに増加しています。 ○健康管理や体力の保持増進のために心がけていることを、男女別にみると、男女ともに「食生活に気をつける」が最も多く、特に女性は約3割を占めています。男性は女性より「運動やスポーツをする」の割合が高く、約2倍となっています。 健康管理や体力の保持増進のために心がけていること <table><caption>健康管理や体力の保持増進のために心がけていること</caption><tr><th>項目</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr><tr><td>食生活に気をつける</td><td>27.1%</td><td>25.5%</td></tr><tr><td>睡眠や休養をよくとる</td><td>17.2%</td><td>17.5%</td></tr><tr><td>運動やスポーツ（職場での体操や散歩を含む）をする</td><td>9.6%</td><td>11.0%</td></tr><tr><td>日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす（車を利用せずに歩く等）</td><td>8.0%</td><td>7.8%</td></tr><tr><td>規則正しい生活をする</td><td>11.1%</td><td>12.2%</td></tr><tr><td>酒、たばこ等を控える</td><td>2.6%</td><td>2.0%</td></tr><tr><td>その他</td><td>1.4%</td><td>0.9%</td></tr><tr><td>心がけていることはない</td><td>11.7%</td><td>13.0%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>11.2%</td><td>10.2%</td></tr></table> 健康管理や体力の保持増進のために心がけていること/性別 <table><caption>健康管理や体力の保持増進のために心がけていること/性別</caption><tr><th>性別</th><th>食生活に気をつける</th><th>睡眠や休養をよくとる</th><th>運動やスポーツをする</th><th>日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす</th><th>規則正しい生活をする</th><th>酒、たばこ等を控える</th><th>その他</th><th>心がけていることはない</th><th>無回答</th></tr><tr><td>男性【N=459】</td><td>22.7%</td><td>16.3%</td><td>15.5%</td><td>9.2%</td><td>9.4%</td><td>3.1%</td><td>17.0%</td><td>6.1%</td><td>0.9%</td></tr><tr><td>女性【N=527】</td><td>28.3%</td><td>19.0%</td><td>7.2%</td><td>6.3%</td><td>14.0%</td><td>1.1%</td><td>9.3%</td><td>14.0%</td><td>0.8%</td></tr></table> ■食生活に気をつける □運動やスポーツをする □規則正しい生活をする □その他 □無回答 □睡眠や休養をよくとる □日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす □酒、たばこ等を控える □心がけていることはない	項目	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	食生活に気をつける	27.1%	25.5%	睡眠や休養をよくとる	17.2%	17.5%	運動やスポーツ（職場での体操や散歩を含む）をする	9.6%	11.0%	日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす（車を利用せずに歩く等）	8.0%	7.8%	規則正しい生活をする	11.1%	12.2%	酒、たばこ等を控える	2.6%	2.0%	その他	1.4%	0.9%	心がけていることはない	11.7%	13.0%	無回答	11.2%	10.2%	性別	食生活に気をつける	睡眠や休養をよくとる	運動やスポーツをする	日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす	規則正しい生活をする	酒、たばこ等を控える	その他	心がけていることはない	無回答	男性【N=459】	22.7%	16.3%	15.5%	9.2%	9.4%	3.1%	17.0%	6.1%	0.9%	女性【N=527】	28.3%	19.0%	7.2%	6.3%	14.0%	1.1%	9.3%	14.0%	0.8%	
項目	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																																												
食生活に気をつける	27.1%	25.5%																																																												
睡眠や休養をよくとる	17.2%	17.5%																																																												
運動やスポーツ（職場での体操や散歩を含む）をする	9.6%	11.0%																																																												
日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす（車を利用せずに歩く等）	8.0%	7.8%																																																												
規則正しい生活をする	11.1%	12.2%																																																												
酒、たばこ等を控える	2.6%	2.0%																																																												
その他	1.4%	0.9%																																																												
心がけていることはない	11.7%	13.0%																																																												
無回答	11.2%	10.2%																																																												
性別	食生活に気をつける	睡眠や休養をよくとる	運動やスポーツをする	日常生活でできるだけ身体活動の機会を増やす	規則正しい生活をする	酒、たばこ等を控える	その他	心がけていることはない	無回答																																																					
男性【N=459】	22.7%	16.3%	15.5%	9.2%	9.4%	3.1%	17.0%	6.1%	0.9%																																																					
女性【N=527】	28.3%	19.0%	7.2%	6.3%	14.0%	1.1%	9.3%	14.0%	0.8%																																																					

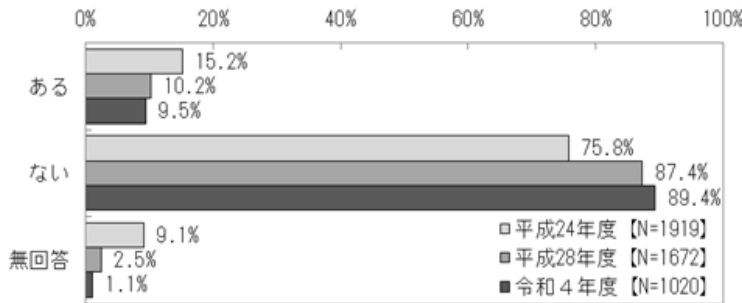
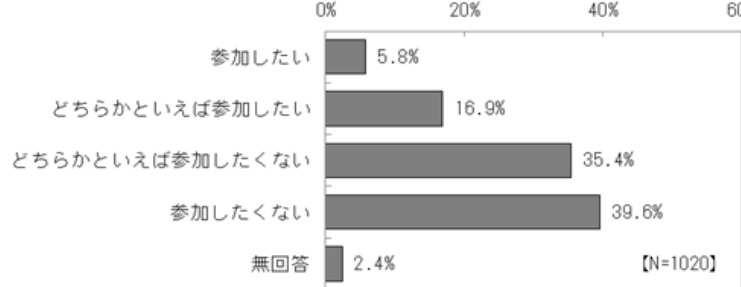
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																										
	○好きなことができる時間の過ごし方は、「テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす」が47.6%と最も多く、次いで「ゲームやインターネットをして過ごす」が29.4%、「ショッピング・買い物をする」が29.0%などで、「運動・スポーツをする」は14.8%と他の回答項目と比べても低い数値となっています。 ○前回調査と比較すると、「運動・スポーツをする」は減少し、「ゲームやインターネットをして過ごす」が大きく伸びています。 <u>好きなことができる時間の過ごし方</u>  <table border="1" data-bbox="1093 427 1848 1281"> <thead> <tr> <th>過ごし方</th> <th>平成28年度【N=1672】</th> <th>令和4年度【N=1020】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>何もせずにゴロ寝で過ごす</td> <td>18.4%</td> <td>19.9%</td> </tr> <tr> <td>テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす</td> <td>52.2%</td> <td>47.6%</td> </tr> <tr> <td>ゲームやインターネットをして過ごす</td> <td>18.4%</td> <td>29.4%</td> </tr> <tr> <td>家族との団らんを楽しむ</td> <td>16.3%</td> <td>15.7%</td> </tr> <tr> <td>運動・スポーツをする</td> <td>16.1%</td> <td>14.8%</td> </tr> <tr> <td>ドライブや旅行に出かける</td> <td>19.8%</td> <td>18.7%</td> </tr> <tr> <td>新聞・雑誌・本を読む</td> <td>32.7%</td> <td>25.6%</td> </tr> <tr> <td>ショッピング・買い物をする</td> <td>31.8%</td> <td>29.0%</td> </tr> <tr> <td>音楽を聴いたり映画をみたりする</td> <td>14.1%</td> <td>19.7%</td> </tr> <tr> <td>手芸・庭いじり・日曜大工などをする</td> <td>24.3%</td> <td>23.8%</td> </tr> <tr> <td>ボランティア活動をする</td> <td>3.6%</td> <td>2.7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>9.2%</td> <td>9.1%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>0.1%</td> <td>0.6%</td> </tr> </tbody> </table>	過ごし方	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	何もせずにゴロ寝で過ごす	18.4%	19.9%	テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす	52.2%	47.6%	ゲームやインターネットをして過ごす	18.4%	29.4%	家族との団らんを楽しむ	16.3%	15.7%	運動・スポーツをする	16.1%	14.8%	ドライブや旅行に出かける	19.8%	18.7%	新聞・雑誌・本を読む	32.7%	25.6%	ショッピング・買い物をする	31.8%	29.0%	音楽を聴いたり映画をみたりする	14.1%	19.7%	手芸・庭いじり・日曜大工などをする	24.3%	23.8%	ボランティア活動をする	3.6%	2.7%	その他	9.2%	9.1%	無回答	0.1%	0.6%	
過ごし方	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																										
何もせずにゴロ寝で過ごす	18.4%	19.9%																																										
テレビを見たりラジオを聴いたりして過ごす	52.2%	47.6%																																										
ゲームやインターネットをして過ごす	18.4%	29.4%																																										
家族との団らんを楽しむ	16.3%	15.7%																																										
運動・スポーツをする	16.1%	14.8%																																										
ドライブや旅行に出かける	19.8%	18.7%																																										
新聞・雑誌・本を読む	32.7%	25.6%																																										
ショッピング・買い物をする	31.8%	29.0%																																										
音楽を聴いたり映画をみたりする	14.1%	19.7%																																										
手芸・庭いじり・日曜大工などをする	24.3%	23.8%																																										
ボランティア活動をする	3.6%	2.7%																																										
その他	9.2%	9.1%																																										
無回答	0.1%	0.6%																																										

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																				
	②運動やスポーツの実施状況について ○運動やスポーツの取り組み方は、「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」が43.6%と最も多く、次いで「運動やスポーツを時々している」が23.7%、「運動やスポーツに関心がない」が16.6%、「運動やスポーツを日常的にしている」が14.5%となっています。 ○前回調査と比較すると、「運動やスポーツを日常的にしている」が増加し、「運動やスポーツをしたいが、なかなかできない」が減少しています。 ○運動やスポーツの取り組み方を、男女別にみると、「運動やスポーツを日常的にしている」と「運動やスポーツを時々している」を合わせた割合（『運動やスポーツをしている』）は、男性が43.5%、女性が33.8%で、女性は、「運動やスポーツをしたいがなかなかできない」が49.7%と高い割合となっています。 運動やスポーツの取り組み方 <table><thead><tr><th>取り組み方</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr></thead><tbody><tr><td>運動やスポーツを日常的にしている</td><td>9.2%</td><td>14.5%</td></tr><tr><td>運動やスポーツを時々している</td><td>24.0%</td><td>23.7%</td></tr><tr><td>運動やスポーツをしたいが、なかなかできない</td><td>47.5%</td><td>43.6%</td></tr><tr><td>運動やスポーツに関心がない</td><td>16.7%</td><td>16.6%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>2.5%</td><td>1.6%</td></tr></tbody></table> 運動やスポーツの取り組み方/性別 <table><thead><tr><th>性別</th><th>日常的にしている</th><th>時々している</th><th>したいがなかなかできない</th><th>関心がない</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>男性【N=459】</td><td>17.4%</td><td>26.1%</td><td>36.8%</td><td>19.2%</td><td>0.4%</td></tr><tr><td>女性【N=527】</td><td>12.0%</td><td>21.8%</td><td>49.7%</td><td>14.0%</td><td>2.5%</td></tr></tbody></table> ■運動やスポーツを日常的にしている □運動やスポーツを時々している □運動やスポーツをしたいが、なかなかできない ■運動やスポーツに関心がない □無回答	取り組み方	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	運動やスポーツを日常的にしている	9.2%	14.5%	運動やスポーツを時々している	24.0%	23.7%	運動やスポーツをしたいが、なかなかできない	47.5%	43.6%	運動やスポーツに関心がない	16.7%	16.6%	無回答	2.5%	1.6%	性別	日常的にしている	時々している	したいがなかなかできない	関心がない	無回答	男性【N=459】	17.4%	26.1%	36.8%	19.2%	0.4%	女性【N=527】	12.0%	21.8%	49.7%	14.0%	2.5%	
取り組み方	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																				
運動やスポーツを日常的にしている	9.2%	14.5%																																				
運動やスポーツを時々している	24.0%	23.7%																																				
運動やスポーツをしたいが、なかなかできない	47.5%	43.6%																																				
運動やスポーツに関心がない	16.7%	16.6%																																				
無回答	2.5%	1.6%																																				
性別	日常的にしている	時々している	したいがなかなかできない	関心がない	無回答																																	
男性【N=459】	17.4%	26.1%	36.8%	19.2%	0.4%																																	
女性【N=527】	12.0%	21.8%	49.7%	14.0%	2.5%																																	

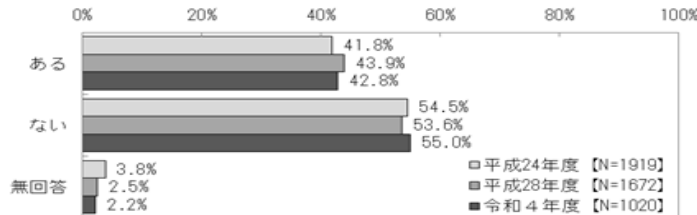
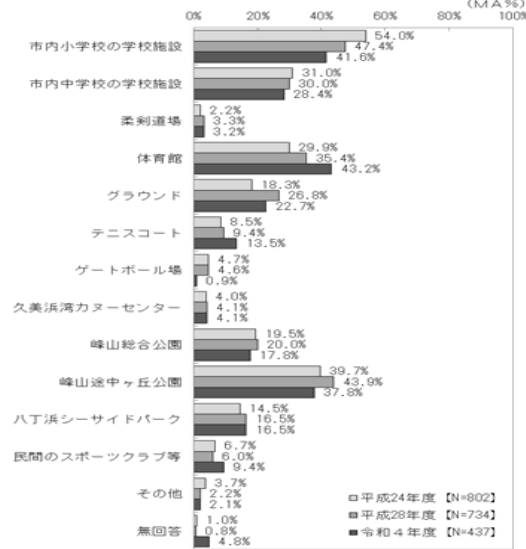
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																																													
	○運動やスポーツをしている理由は、「健康・体力づくりのため」が59.7%と最も多く、次いで「楽しみ、気晴らしとして」が45.9%、「運動不足を感じるから」が37.7%などとなっています。 ○運動やスポーツをしたいが、できない理由は、「仕事が忙しくて時間がないから」が44.7%と最も多く、次いで「機会がないから」が34.8%、「体力に自信がないから」が22.9%などとなっています。 運動やスポーツを行っている方に理由を聞きました <table><thead><tr><th>理由</th><th>平成24年度【N=578】</th><th>平成28年度【N=555】</th><th>令和4年度【N=390】</th></tr></thead><tbody><tr><td>健康・体力づくりのため</td><td>63.0%</td><td>60.5%</td><td>59.7%</td></tr><tr><td>楽しみ、気晴らしとして</td><td>61.2%</td><td>51.5%</td><td>45.9%</td></tr><tr><td>運動不足を感じるから</td><td>42.6%</td><td>41.6%</td><td>37.7%</td></tr><tr><td>精神の修養や訓練のため</td><td>6.6%</td><td>4.9%</td><td>4.9%</td></tr><tr><td>自己の記録や能力を向上させるため</td><td>7.3%</td><td>10.3%</td><td>8.5%</td></tr><tr><td>家族のふれあいとして</td><td>5.5%</td><td>2.9%</td><td>5.6%</td></tr><tr><td>友人・仲間との交流として</td><td>42.6%</td><td>33.0%</td><td>20.0%</td></tr><tr><td>美容や肥満解消のため</td><td>17.5%</td><td>15.3%</td><td>15.1%</td></tr><tr><td>その他</td><td>2.8%</td><td>2.9%</td><td>3.6%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>1.0%</td><td>1.8%</td><td>5.6%</td></tr></tbody></table> 運動やスポーツができない方に理由を聞きました <table><thead><tr><th>理由</th><th>平成28年度【N=795】</th><th>令和4年度【N=445】</th></tr></thead><tbody><tr><td>仕事が忙しくて時間がないから</td><td>53.6%</td><td>44.7%</td></tr><tr><td>育児や家事が忙しくて時間がないから</td><td>19.2%</td><td>19.6%</td></tr><tr><td>体力に自信がないから</td><td>25.3%</td><td>22.9%</td></tr><tr><td>場所や施設がないから</td><td>11.7%</td><td>18.0%</td></tr><tr><td>仲間がいないから</td><td>16.4%</td><td>16.9%</td></tr><tr><td>指導者がいないから</td><td>2.4%</td><td>3.6%</td></tr><tr><td>お金がかかるから</td><td>15.0%</td><td>18.7%</td></tr><tr><td>機会がないから</td><td>29.4%</td><td>34.8%</td></tr><tr><td>その他</td><td>9.7%</td><td>10.6%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>1.4%</td><td>3.4%</td></tr></tbody></table>	理由	平成24年度【N=578】	平成28年度【N=555】	令和4年度【N=390】	健康・体力づくりのため	63.0%	60.5%	59.7%	楽しみ、気晴らしとして	61.2%	51.5%	45.9%	運動不足を感じるから	42.6%	41.6%	37.7%	精神の修養や訓練のため	6.6%	4.9%	4.9%	自己の記録や能力を向上させるため	7.3%	10.3%	8.5%	家族のふれあいとして	5.5%	2.9%	5.6%	友人・仲間との交流として	42.6%	33.0%	20.0%	美容や肥満解消のため	17.5%	15.3%	15.1%	その他	2.8%	2.9%	3.6%	無回答	1.0%	1.8%	5.6%	理由	平成28年度【N=795】	令和4年度【N=445】	仕事が忙しくて時間がないから	53.6%	44.7%	育児や家事が忙しくて時間がないから	19.2%	19.6%	体力に自信がないから	25.3%	22.9%	場所や施設がないから	11.7%	18.0%	仲間がいないから	16.4%	16.9%	指導者がいないから	2.4%	3.6%	お金がかかるから	15.0%	18.7%	機会がないから	29.4%	34.8%	その他	9.7%	10.6%	無回答	1.4%	3.4%	
理由	平成24年度【N=578】	平成28年度【N=555】	令和4年度【N=390】																																																																												
健康・体力づくりのため	63.0%	60.5%	59.7%																																																																												
楽しみ、気晴らしとして	61.2%	51.5%	45.9%																																																																												
運動不足を感じるから	42.6%	41.6%	37.7%																																																																												
精神の修養や訓練のため	6.6%	4.9%	4.9%																																																																												
自己の記録や能力を向上させるため	7.3%	10.3%	8.5%																																																																												
家族のふれあいとして	5.5%	2.9%	5.6%																																																																												
友人・仲間との交流として	42.6%	33.0%	20.0%																																																																												
美容や肥満解消のため	17.5%	15.3%	15.1%																																																																												
その他	2.8%	2.9%	3.6%																																																																												
無回答	1.0%	1.8%	5.6%																																																																												
理由	平成28年度【N=795】	令和4年度【N=445】																																																																													
仕事が忙しくて時間がないから	53.6%	44.7%																																																																													
育児や家事が忙しくて時間がないから	19.2%	19.6%																																																																													
体力に自信がないから	25.3%	22.9%																																																																													
場所や施設がないから	11.7%	18.0%																																																																													
仲間がいないから	16.4%	16.9%																																																																													
指導者がいないから	2.4%	3.6%																																																																													
お金がかかるから	15.0%	18.7%																																																																													
機会がないから	29.4%	34.8%																																																																													
その他	9.7%	10.6%																																																																													
無回答	1.4%	3.4%																																																																													

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																								
	○健康が気になるため、体を動かすことを心がけている頻度は、「週3日以上」が 29.5%と最も多くなっています。『週に1日以上』は 52.8%となっています。 ○継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいる頻度は、「週3日以上」が 28.0%と最も多くなっています。『週に1日以上』は 49.7%となっています。 ○一日の運動合計時間が 30 分以上である頻度は、「全くやらない」が 35. 1%と最も多くなっています。『週に1日以上』は 34.4%となっています。 ○競技性のあるスポーツを行なっている頻度は、「全くやらない」が 66.7%と最も多くなっています。『週に1日以上』は 12.2%となっています。 ※『週に1日以上』とは「週3日以上」と「週に1～2日」を合わせた割合のことをさす 運動やスポーツの頻度 <table><thead><tr><th>項目</th><th>週に3日以上</th><th>週に1～2日</th><th>月に1～3日</th><th>3カ月に1～2日</th><th>年に1～3日</th><th>全くやらない</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>健康が気になるため、体を動かすことを心がけている</td><td>29.5%</td><td>23.3%</td><td>12.9%</td><td>4.0%</td><td>2.9%</td><td>20.0%</td><td>7.3%</td></tr><tr><td>継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいる</td><td>28.0%</td><td>21.7%</td><td>11.5%</td><td>5.7%</td><td>3.7%</td><td>22.3%</td><td>7.2%</td></tr><tr><td>一日の運動合計時間が30分以上である</td><td>18.8%</td><td>15.6%</td><td>11.6%</td><td>6.7%</td><td>4.4%</td><td>35.1%</td><td>7.8%</td></tr><tr><td>競技性のあるスポーツを行っている</td><td>4.7%</td><td>7.5%</td><td>6.3%</td><td>3.0%</td><td>2.5%</td><td>66.7%</td><td>9.3%</td></tr></tbody></table> 【N=1020】	項目	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3カ月に1～2日	年に1～3日	全くやらない	無回答	健康が気になるため、体を動かすことを心がけている	29.5%	23.3%	12.9%	4.0%	2.9%	20.0%	7.3%	継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいる	28.0%	21.7%	11.5%	5.7%	3.7%	22.3%	7.2%	一日の運動合計時間が30分以上である	18.8%	15.6%	11.6%	6.7%	4.4%	35.1%	7.8%	競技性のあるスポーツを行っている	4.7%	7.5%	6.3%	3.0%	2.5%	66.7%	9.3%	
項目	週に3日以上	週に1～2日	月に1～3日	3カ月に1～2日	年に1～3日	全くやらない	無回答																																			
健康が気になるため、体を動かすことを心がけている	29.5%	23.3%	12.9%	4.0%	2.9%	20.0%	7.3%																																			
継続時間は長くないが、体を動かすことを楽しんでいる	28.0%	21.7%	11.5%	5.7%	3.7%	22.3%	7.2%																																			
一日の運動合計時間が30分以上である	18.8%	15.6%	11.6%	6.7%	4.4%	35.1%	7.8%																																			
競技性のあるスポーツを行っている	4.7%	7.5%	6.3%	3.0%	2.5%	66.7%	9.3%																																			

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
	○スポーツクラブへの参加状況は、「今も参加していないし、今後も参加するつもりはない」が59.5%と最も多く、次いで「今は参加していないが、いずれ参加したい」が19.9%、「参加している」が17.4%となっています。 ○スポーツクラブなどへの参加状況を、運動やスポーツの取り組み方別にみると、運動やスポーツを日常的にしている人と時々している人は「参加している」と「今は参加していないが、いずれ参加したい」を合わせると約5割と多くなっています。運動やスポーツをしたいが、なかなかできない人は、「いずれ参加したい」が32.1%で、「今後も参加するつもりはない」が61.6%となっています。 スポーツクラブなどへの参加状況 0%20%40%60%80% 参加している 今は参加していないが、 いずれ参加したい 今も参加していないし、 今後も参加するつもりはない 無回答 17.4% 19.9% 59.5% 3.2% 【N=1020】 スポーツクラブへの参加状況／運動やスポーツの取り組み方別 0%20%40%60%80%100% 運動やスポーツを 日常的にしている【N=148】 運動やスポーツを 時々している【N=242】 運動やスポーツをしたいが、 なかなかできない【N=445】 運動やスポーツに関心がない 【N=169】 42.6% 9.5% 45.3% 2.7% 37.6% 15.7% 45.0% 1.7% 3.6% 32.1% 61.6% 2.7% 3.6% 2.4% 88.8% 5.3% ■参加している □今は参加していないが、いずれ参加したい □今も参加していないし、今後も参加するつもりはない □無回答	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																												
	③スポーツに関するボランティア活動について ○スポーツに関するボランティア活動への参加状況は、「ある」が9.5%、「ない」が89.4%となっています。 ○アンケート調査による前回調査との比較では、「ある」が徐々に減少しています。 スポーツに関するボランティア活動への参加状況 <table><caption>スポーツに関するボランティア活動への参加状況</caption><thead><tr><th>参加状況</th><th>平成24年度【N=1919】</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr></thead><tbody><tr><td>ある</td><td>15.2%</td><td>10.2%</td><td>9.5%</td></tr><tr><td>ない</td><td>75.8%</td><td>87.4%</td><td>89.4%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>9.1%</td><td>2.5%</td><td>1.1%</td></tr></tbody></table> スポーツに関するボランティア活動への参加意向 <table><caption>スポーツに関するボランティア活動への参加意向</caption><thead><tr><th>参加意向</th><th>割合</th></tr></thead><tbody><tr><td>参加したい</td><td>5.8%</td></tr><tr><td>どちらかといえば参加したい</td><td>16.9%</td></tr><tr><td>どちらかといえば参加したくない</td><td>35.4%</td></tr><tr><td>参加したくない</td><td>39.6%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>2.4%</td></tr></tbody></table> 【N=1020】	参加状況	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	ある	15.2%	10.2%	9.5%	ない	75.8%	87.4%	89.4%	無回答	9.1%	2.5%	1.1%	参加意向	割合	参加したい	5.8%	どちらかといえば参加したい	16.9%	どちらかといえば参加したくない	35.4%	参加したくない	39.6%	無回答	2.4%	
参加状況	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																											
ある	15.2%	10.2%	9.5%																											
ない	75.8%	87.4%	89.4%																											
無回答	9.1%	2.5%	1.1%																											
参加意向	割合																													
参加したい	5.8%																													
どちらかといえば参加したい	16.9%																													
どちらかといえば参加したくない	35.4%																													
参加したくない	39.6%																													
無回答	2.4%																													

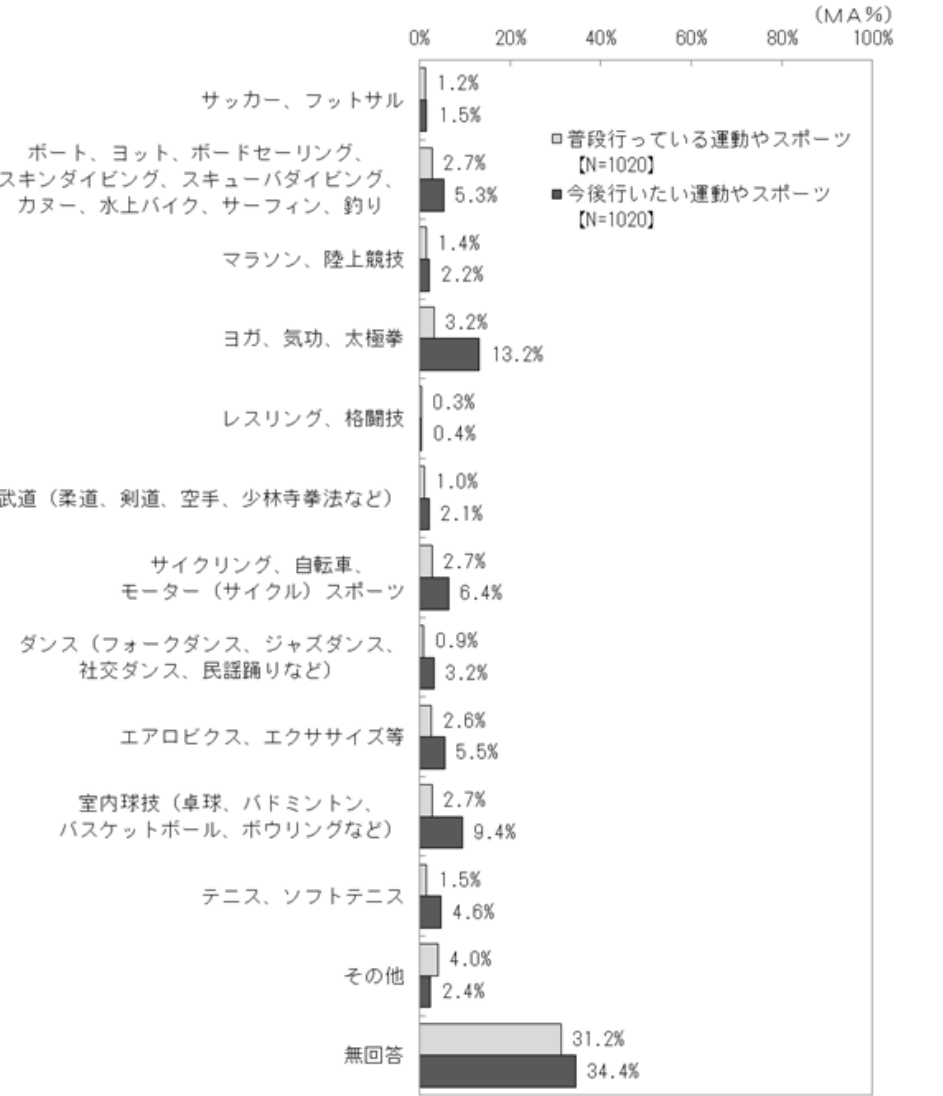
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																
	スポーツに関するボランティア活動への参加意向/年代別 <table><thead><tr><th>年代</th><th>参加したい</th><th>どちらかといえば参加したい</th><th>どちらかといえば参加したくない</th><th>参加したくない</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>19歳以下【N=14】</td><td>14.3%</td><td>14.3%</td><td>50.0%</td><td>21.4%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>20代【N=77】</td><td>14.3%</td><td>23.4%</td><td>35.1%</td><td>26.0%</td><td>1.3%</td></tr><tr><td>30代【N=112】</td><td>5.4%</td><td>25.0%</td><td>38.4%</td><td>31.3%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>40代【N=162】</td><td>8.0%</td><td>22.8%</td><td>33.3%</td><td>35.8%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>50代【N=220】</td><td>5.9%</td><td>17.3%</td><td>42.3%</td><td>31.8%</td><td>2.7%</td></tr><tr><td>60代【N=196】</td><td>2.6%</td><td>13.3%</td><td>33.2%</td><td>46.9%</td><td>4.1%</td></tr><tr><td>70代【N=215】</td><td>2.8%</td><td>10.7%</td><td>30.7%</td><td>52.1%</td><td>3.7%</td></tr></tbody></table>	年代	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	無回答	19歳以下【N=14】	14.3%	14.3%	50.0%	21.4%	0.0%	20代【N=77】	14.3%	23.4%	35.1%	26.0%	1.3%	30代【N=112】	5.4%	25.0%	38.4%	31.3%	0.0%	40代【N=162】	8.0%	22.8%	33.3%	35.8%	0.0%	50代【N=220】	5.9%	17.3%	42.3%	31.8%	2.7%	60代【N=196】	2.6%	13.3%	33.2%	46.9%	4.1%	70代【N=215】	2.8%	10.7%	30.7%	52.1%	3.7%	
年代	参加したい	どちらかといえば参加したい	どちらかといえば参加したくない	参加したくない	無回答																																													
19歳以下【N=14】	14.3%	14.3%	50.0%	21.4%	0.0%																																													
20代【N=77】	14.3%	23.4%	35.1%	26.0%	1.3%																																													
30代【N=112】	5.4%	25.0%	38.4%	31.3%	0.0%																																													
40代【N=162】	8.0%	22.8%	33.3%	35.8%	0.0%																																													
50代【N=220】	5.9%	17.3%	42.3%	31.8%	2.7%																																													
60代【N=196】	2.6%	13.3%	33.2%	46.9%	4.1%																																													
70代【N=215】	2.8%	10.7%	30.7%	52.1%	3.7%																																													

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																																												
	④京丹後市のスポーツ施策について ○京丹後市のスポーツ施設について利用経験の有無を聞いたところ、「ある」が42.8%で、「ない」が55.0%となっています。 ○前回調査と比較すると、「ある」は微減となっています。 京丹後市のスポーツ施設の利用の有無 <table><caption>京丹後市のスポーツ施設の利用の有無</caption><thead><tr><th>利用の有無</th><th>平成24年度【N=1919】</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr></thead><tbody><tr><td>ある</td><td>41.8%</td><td>43.9%</td><td>42.8%</td></tr><tr><td>ない</td><td>54.5%</td><td>53.6%</td><td>55.0%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>3.8%</td><td>2.5%</td><td>2.2%</td></tr></tbody></table> ○使用したことのある京丹後市の施設等は、「体育館」が43.2%と最も多く、次いで「市内小学校の学校施設」が41.6%、「峰山途中ヶ丘公園」が37.8%となっています。 ○前回調査と比較すると、主に「市内小学校の学校施設」、「市内中学校の学校施設」が減少し、「体育館」「テニスコート」「民間のスポーツクラブ等」が増加しています。 使用したことのある京丹後市の施設等 <table><caption>使用したことのある京丹後市の施設等</caption><thead><tr><th>施設等</th><th>平成24年度【N=802】</th><th>平成28年度【N=734】</th><th>令和4年度【N=437】</th></tr></thead><tbody><tr><td>市内小学校の学校施設</td><td>54.0%</td><td>47.4%</td><td>41.6%</td></tr><tr><td>市内中学校の学校施設</td><td>31.0%</td><td>30.0%</td><td>29.4%</td></tr><tr><td>柔剣道場</td><td>2.2%</td><td>3.3%</td><td>3.2%</td></tr><tr><td>体育館</td><td>29.9%</td><td>35.4%</td><td>43.2%</td></tr><tr><td>グラウンド</td><td>18.3%</td><td>26.8%</td><td>22.7%</td></tr><tr><td>テニスコート</td><td>8.5%</td><td>9.4%</td><td>13.5%</td></tr><tr><td>ゲートボール場</td><td>4.7%</td><td>4.0%</td><td>0.9%</td></tr><tr><td>久美浜湾カヌーセンター</td><td>4.0%</td><td>4.1%</td><td>4.1%</td></tr><tr><td>峰山総合公園</td><td>19.5%</td><td>20.0%</td><td>17.6%</td></tr><tr><td>峰山途中ヶ丘公園</td><td>39.7%</td><td>43.9%</td><td>37.8%</td></tr><tr><td>八丁浜シーサイドパーク</td><td>14.5%</td><td>16.5%</td><td>16.5%</td></tr><tr><td>民間のスポーツクラブ等</td><td>6.7%</td><td>6.0%</td><td>9.4%</td></tr><tr><td>その他</td><td>3.7%</td><td>2.2%</td><td>2.1%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>1.0%</td><td>0.8%</td><td>4.8%</td></tr></tbody></table>	利用の有無	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	ある	41.8%	43.9%	42.8%	ない	54.5%	53.6%	55.0%	無回答	3.8%	2.5%	2.2%	施設等	平成24年度【N=802】	平成28年度【N=734】	令和4年度【N=437】	市内小学校の学校施設	54.0%	47.4%	41.6%	市内中学校の学校施設	31.0%	30.0%	29.4%	柔剣道場	2.2%	3.3%	3.2%	体育館	29.9%	35.4%	43.2%	グラウンド	18.3%	26.8%	22.7%	テニスコート	8.5%	9.4%	13.5%	ゲートボール場	4.7%	4.0%	0.9%	久美浜湾カヌーセンター	4.0%	4.1%	4.1%	峰山総合公園	19.5%	20.0%	17.6%	峰山途中ヶ丘公園	39.7%	43.9%	37.8%	八丁浜シーサイドパーク	14.5%	16.5%	16.5%	民間のスポーツクラブ等	6.7%	6.0%	9.4%	その他	3.7%	2.2%	2.1%	無回答	1.0%	0.8%	4.8%	
利用の有無	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																																																											
ある	41.8%	43.9%	42.8%																																																																											
ない	54.5%	53.6%	55.0%																																																																											
無回答	3.8%	2.5%	2.2%																																																																											
施設等	平成24年度【N=802】	平成28年度【N=734】	令和4年度【N=437】																																																																											
市内小学校の学校施設	54.0%	47.4%	41.6%																																																																											
市内中学校の学校施設	31.0%	30.0%	29.4%																																																																											
柔剣道場	2.2%	3.3%	3.2%																																																																											
体育館	29.9%	35.4%	43.2%																																																																											
グラウンド	18.3%	26.8%	22.7%																																																																											
テニスコート	8.5%	9.4%	13.5%																																																																											
ゲートボール場	4.7%	4.0%	0.9%																																																																											
久美浜湾カヌーセンター	4.0%	4.1%	4.1%																																																																											
峰山総合公園	19.5%	20.0%	17.6%																																																																											
峰山途中ヶ丘公園	39.7%	43.9%	37.8%																																																																											
八丁浜シーサイドパーク	14.5%	16.5%	16.5%																																																																											
民間のスポーツクラブ等	6.7%	6.0%	9.4%																																																																											
その他	3.7%	2.2%	2.1%																																																																											
無回答	1.0%	0.8%	4.8%																																																																											

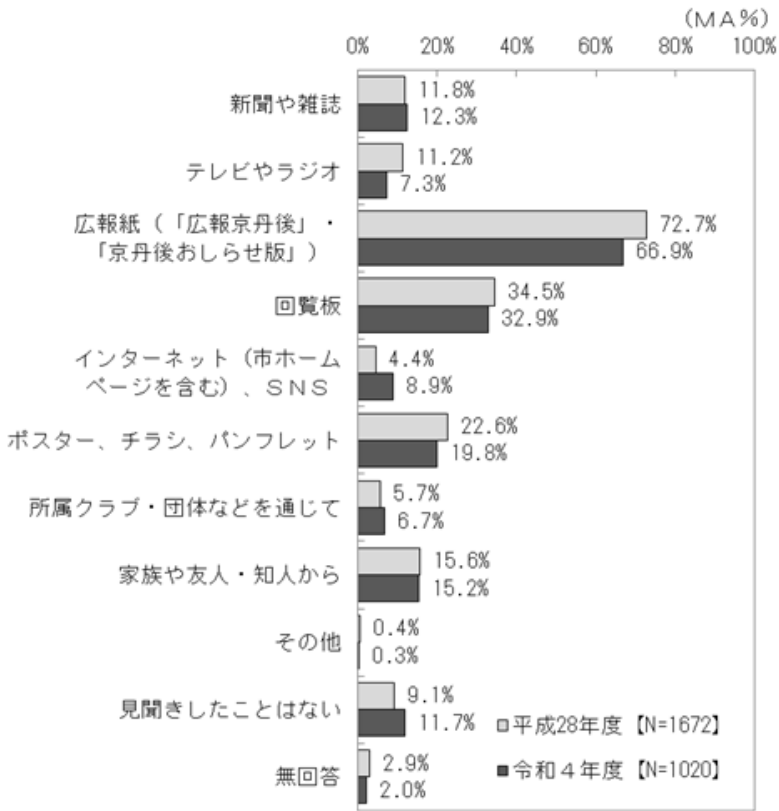
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																												
	○京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況は、「知らない」が41.0%と最も多く、次いで「知っているが、参加したことがない」が38.8%、次いで、「参加したことがある」が19.2%となっています。 ○年代別にみると、「参加したことがある」は20代が26.0%と最も多く、70代では10.2%となっています。「知らない」は年代が低いほど多くなっています。 ○居住地域別にみると、「参加したことがある」は峰山町が最も多くなっています。 ○前回調査と比較すると「知っているが、参加したことがない」が減少し、「知らない」が大きく増加しています。 京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況 <table><thead><tr><th>参加状況</th><th>平成24年度【N=1919】</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr></thead><tbody><tr><td>参加したことがある</td><td>17.2%</td><td>22.4%</td><td>19.1%</td></tr><tr><td>知っているが、参加したことがない</td><td>43.1%</td><td>51.2%</td><td>38.3%</td></tr><tr><td>知らない</td><td>37.6%</td><td>22.9%</td><td>41.0%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>2.1%</td><td>3.5%</td><td>1.6%</td></tr></tbody></table> 京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況/年代別 <table><thead><tr><th>年代</th><th>参加したことがある</th><th>知っているが、参加したことがない</th><th>知らない</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>19歳以下【N=14】</td><td>14.3%</td><td>35.7%</td><td>50.0%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>20代【N=77】</td><td>26.0%</td><td>20.8%</td><td>53.2%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>30代【N=112】</td><td>17.9%</td><td>31.3%</td><td>50.9%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>40代【N=162】</td><td>21.0%</td><td>30.2%</td><td>48.1%</td><td>0.6%</td></tr><tr><td>50代【N=220】</td><td>24.1%</td><td>40.0%</td><td>34.5%</td><td>1.4%</td></tr><tr><td>60代【N=196】</td><td>18.9%</td><td>44.4%</td><td>35.7%</td><td>1.0%</td></tr><tr><td>70代【N=215】</td><td>10.2%</td><td>50.7%</td><td>34.4%</td><td>4.7%</td></tr></tbody></table>	参加状況	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	参加したことがある	17.2%	22.4%	19.1%	知っているが、参加したことがない	43.1%	51.2%	38.3%	知らない	37.6%	22.9%	41.0%	無回答	2.1%	3.5%	1.6%	年代	参加したことがある	知っているが、参加したことがない	知らない	無回答	19歳以下【N=14】	14.3%	35.7%	50.0%	0.0%	20代【N=77】	26.0%	20.8%	53.2%	0.0%	30代【N=112】	17.9%	31.3%	50.9%	0.0%	40代【N=162】	21.0%	30.2%	48.1%	0.6%	50代【N=220】	24.1%	40.0%	34.5%	1.4%	60代【N=196】	18.9%	44.4%	35.7%	1.0%	70代【N=215】	10.2%	50.7%	34.4%	4.7%	
参加状況	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																																											
参加したことがある	17.2%	22.4%	19.1%																																																											
知っているが、参加したことがない	43.1%	51.2%	38.3%																																																											
知らない	37.6%	22.9%	41.0%																																																											
無回答	2.1%	3.5%	1.6%																																																											
年代	参加したことがある	知っているが、参加したことがない	知らない	無回答																																																										
19歳以下【N=14】	14.3%	35.7%	50.0%	0.0%																																																										
20代【N=77】	26.0%	20.8%	53.2%	0.0%																																																										
30代【N=112】	17.9%	31.3%	50.9%	0.0%																																																										
40代【N=162】	21.0%	30.2%	48.1%	0.6%																																																										
50代【N=220】	24.1%	40.0%	34.5%	1.4%																																																										
60代【N=196】	18.9%	44.4%	35.7%	1.0%																																																										
70代【N=215】	10.2%	50.7%	34.4%	4.7%																																																										

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
	京丹後市が主催するスポーツイベントへの参加状況/居住地域別 0%20%40%60%80%100% 峰山町【N=226】 26.5%38.1%34.1%1.3% 大宮町【N=192】 12.5%39.6%45.8%2.1% 網野町【N=207】 17.4%44.9%36.7%1.0% 丹後町【N=96】 16.7%43.8%39.6%0.0% 弥栄町【N=104】 13.5%33.7%51.0%1.9% 久美浜町【N=171】 22.8%32.2%42.7%2.3% ■参加したことがある □知っているが、参加したことがない □知らない □無回答	

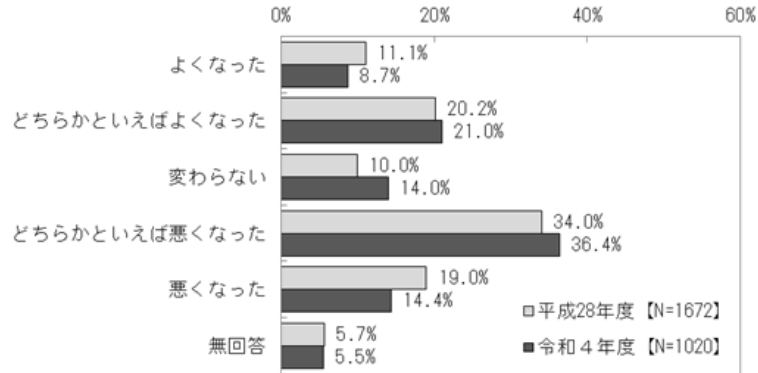
現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																													
	○この1年間で行った運動やスポーツは、「ウォーキング」が39.2%と最も多く、次いで「体操」が16.6%、「室内運動器具を使ってする運動（筋力トレーニング）」が8.1%などとなっています。 ○今後行いたい運動やスポーツは、「ウォーキング」が23.6%と最も多く、次いで「ヨガ、気功、太極拳」と「室内運動器具を使ってする運動」が13.2%などとなっています。 <u>この1年間で行った運動やスポーツおよび今後行いたい運動やスポーツ</u> <table border="1"> <thead> <tr> <th>運動やスポーツ</th> <th>○普段行っている運動やスポーツ【N=1020】</th> <th>■今後行いたい運動やスポーツ【N=1020】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ウォーキング（散歩など）</td><td>39.2%</td><td>23.6%</td></tr> <tr><td>体操（ラジオ体操、美容体操、縄跳びなど）</td><td>16.6%</td><td>8.5%</td></tr> <tr><td>グラウンド・ゴルフ、ゲートボール</td><td>3.7%</td><td>3.4%</td></tr> <tr><td>ゴルフ</td><td>3.7%</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>ジョギング</td><td>5.3%</td><td>6.1%</td></tr> <tr><td>ノルディックウォーキング</td><td>1.0%</td><td>3.1%</td></tr> <tr><td>きばれえ、ビーチボールバレー、ベタンク、ファミリーバドミントン</td><td>0.2%</td><td>2.4%</td></tr> <tr><td>キャッチボール、ドッジボール</td><td>1.3%</td><td>1.0%</td></tr> <tr><td>水泳</td><td>1.1%</td><td>5.7%</td></tr> <tr><td>室内運動器具を使ってする運動（筋力トレーニング）</td><td>8.1%</td><td>13.2%</td></tr> <tr><td>スキー、スノーボード</td><td>2.4%</td><td>4.5%</td></tr> <tr><td>登山（クライミングを含む）、ハイキング、ワンダーフォーゲル</td><td>3.1%</td><td>8.7%</td></tr> <tr><td>バレーボール、ソフトバレーボール</td><td>2.0%</td><td>3.8%</td></tr> <tr><td>野球、ソフトボール</td><td>2.7%</td><td>2.2%</td></tr> </tbody> </table>	運動やスポーツ	○普段行っている運動やスポーツ【N=1020】	■今後行いたい運動やスポーツ【N=1020】	ウォーキング（散歩など）	39.2%	23.6%	体操（ラジオ体操、美容体操、縄跳びなど）	16.6%	8.5%	グラウンド・ゴルフ、ゲートボール	3.7%	3.4%	ゴルフ	3.7%	3.8%	ジョギング	5.3%	6.1%	ノルディックウォーキング	1.0%	3.1%	きばれえ、ビーチボールバレー、ベタンク、ファミリーバドミントン	0.2%	2.4%	キャッチボール、ドッジボール	1.3%	1.0%	水泳	1.1%	5.7%	室内運動器具を使ってする運動（筋力トレーニング）	8.1%	13.2%	スキー、スノーボード	2.4%	4.5%	登山（クライミングを含む）、ハイキング、ワンダーフォーゲル	3.1%	8.7%	バレーボール、ソフトバレーボール	2.0%	3.8%	野球、ソフトボール	2.7%	2.2%	
運動やスポーツ	○普段行っている運動やスポーツ【N=1020】	■今後行いたい運動やスポーツ【N=1020】																																													
ウォーキング（散歩など）	39.2%	23.6%																																													
体操（ラジオ体操、美容体操、縄跳びなど）	16.6%	8.5%																																													
グラウンド・ゴルフ、ゲートボール	3.7%	3.4%																																													
ゴルフ	3.7%	3.8%																																													
ジョギング	5.3%	6.1%																																													
ノルディックウォーキング	1.0%	3.1%																																													
きばれえ、ビーチボールバレー、ベタンク、ファミリーバドミントン	0.2%	2.4%																																													
キャッチボール、ドッジボール	1.3%	1.0%																																													
水泳	1.1%	5.7%																																													
室内運動器具を使ってする運動（筋力トレーニング）	8.1%	13.2%																																													
スキー、スノーボード	2.4%	4.5%																																													
登山（クライミングを含む）、ハイキング、ワンダーフォーゲル	3.1%	8.7%																																													
バレーボール、ソフトバレーボール	2.0%	3.8%																																													
野球、ソフトボール	2.7%	2.2%																																													

現 行 (第2次計画)	改正案 (第2次計画見直し)	変更理由等																																										
	 (MA%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>運動やスポーツ</th> <th>普段行っている運動やスポーツ【N=1020】</th> <th>今後行いたい運動やスポーツ【N=1020】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>サッカー、フットサル</td> <td>1.2%</td> <td>1.5%</td> </tr> <tr> <td>ボート、ヨット、ボードセーリング、スキンドайビング、スキューバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、釣り</td> <td>2.7%</td> <td>5.3%</td> </tr> <tr> <td>マラソン、陸上競技</td> <td>1.4%</td> <td>2.2%</td> </tr> <tr> <td>ヨガ、気功、太極拳</td> <td>3.2%</td> <td>13.2%</td> </tr> <tr> <td>レスリング、格闘技</td> <td>0.3%</td> <td>0.4%</td> </tr> <tr> <td>武道（柔道、剣道、空手、少林寺拳法など）</td> <td>1.0%</td> <td>2.1%</td> </tr> <tr> <td>サイクリング、自転車、モーター（サイクル）スポーツ</td> <td>2.7%</td> <td>6.4%</td> </tr> <tr> <td>ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなど）</td> <td>0.9%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>エアロビクス、エクササイズ等</td> <td>2.6%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>室内球技（卓球、バドミントン、バスケットボール、ボウリングなど）</td> <td>2.7%</td> <td>9.4%</td> </tr> <tr> <td>テニス、ソフトテニス</td> <td>1.5%</td> <td>4.6%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>4.0%</td> <td>2.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>31.2%</td> <td>34.4%</td> </tr> </tbody> </table>	運動やスポーツ	普段行っている運動やスポーツ【N=1020】	今後行いたい運動やスポーツ【N=1020】	サッカー、フットサル	1.2%	1.5%	ボート、ヨット、ボードセーリング、スキンドайビング、スキューバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、釣り	2.7%	5.3%	マラソン、陸上競技	1.4%	2.2%	ヨガ、気功、太極拳	3.2%	13.2%	レスリング、格闘技	0.3%	0.4%	武道（柔道、剣道、空手、少林寺拳法など）	1.0%	2.1%	サイクリング、自転車、モーター（サイクル）スポーツ	2.7%	6.4%	ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなど）	0.9%	3.2%	エアロビクス、エクササイズ等	2.6%	5.5%	室内球技（卓球、バドミントン、バスケットボール、ボウリングなど）	2.7%	9.4%	テニス、ソフトテニス	1.5%	4.6%	その他	4.0%	2.4%	無回答	31.2%	34.4%	
運動やスポーツ	普段行っている運動やスポーツ【N=1020】	今後行いたい運動やスポーツ【N=1020】																																										
サッカー、フットサル	1.2%	1.5%																																										
ボート、ヨット、ボードセーリング、スキンドайビング、スキューバダイビング、カヌー、水上バイク、サーフィン、釣り	2.7%	5.3%																																										
マラソン、陸上競技	1.4%	2.2%																																										
ヨガ、気功、太極拳	3.2%	13.2%																																										
レスリング、格闘技	0.3%	0.4%																																										
武道（柔道、剣道、空手、少林寺拳法など）	1.0%	2.1%																																										
サイクリング、自転車、モーター（サイクル）スポーツ	2.7%	6.4%																																										
ダンス（フォークダンス、ジャズダンス、社交ダンス、民謡踊りなど）	0.9%	3.2%																																										
エアロビクス、エクササイズ等	2.6%	5.5%																																										
室内球技（卓球、バドミントン、バスケットボール、ボウリングなど）	2.7%	9.4%																																										
テニス、ソフトテニス	1.5%	4.6%																																										
その他	4.0%	2.4%																																										
無回答	31.2%	34.4%																																										

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																																
	○京丹後市のスポーツ推進委員の認知度については、「知っている」が32.7%、「知らない」が66.3%となっています。 ○年代別にみると、30代以下は「知らない」が7割を超えています。 ○前回調査と比較すると「知っている」が減少し、「知らない」が増加しています。 スポーツ推進委員の認知度 <table><thead><tr><th>認知度</th><th>平成24年度【N=1919】</th><th>平成28年度【N=1672】</th><th>令和4年度【N=1020】</th></tr></thead><tbody><tr><td>知っている</td><td>34.6%</td><td>37.4%</td><td>32.7%</td></tr><tr><td>知らない</td><td>61.8%</td><td>59.5%</td><td>66.3%</td></tr><tr><td>無回答</td><td>3.6%</td><td>3.1%</td><td>1.0%</td></tr></tbody></table> スポーツ推進委員の認知度／年代別 <table><thead><tr><th>年代</th><th>知っている</th><th>知らない</th><th>無回答</th></tr></thead><tbody><tr><td>19歳以下【N=14】</td><td>21.4%</td><td>78.6%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>20代【N=77】</td><td>20.8%</td><td>79.2%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>30代【N=112】</td><td>23.2%</td><td>76.8%</td><td>0.0%</td></tr><tr><td>40代【N=162】</td><td>32.1%</td><td>67.3%</td><td>0.6%</td></tr><tr><td>50代【N=220】</td><td>39.1%</td><td>60.0%</td><td>0.9%</td></tr><tr><td>60代【N=196】</td><td>41.3%</td><td>58.2%</td><td>0.5%</td></tr><tr><td>70代【N=215】</td><td>30.2%</td><td>67.0%</td><td>2.8%</td></tr></tbody></table>	認知度	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	知っている	34.6%	37.4%	32.7%	知らない	61.8%	59.5%	66.3%	無回答	3.6%	3.1%	1.0%	年代	知っている	知らない	無回答	19歳以下【N=14】	21.4%	78.6%	0.0%	20代【N=77】	20.8%	79.2%	0.0%	30代【N=112】	23.2%	76.8%	0.0%	40代【N=162】	32.1%	67.3%	0.6%	50代【N=220】	39.1%	60.0%	0.9%	60代【N=196】	41.3%	58.2%	0.5%	70代【N=215】	30.2%	67.0%	2.8%	
認知度	平成24年度【N=1919】	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																															
知っている	34.6%	37.4%	32.7%																																															
知らない	61.8%	59.5%	66.3%																																															
無回答	3.6%	3.1%	1.0%																																															
年代	知っている	知らない	無回答																																															
19歳以下【N=14】	21.4%	78.6%	0.0%																																															
20代【N=77】	20.8%	79.2%	0.0%																																															
30代【N=112】	23.2%	76.8%	0.0%																																															
40代【N=162】	32.1%	67.3%	0.6%																																															
50代【N=220】	39.1%	60.0%	0.9%																																															
60代【N=196】	41.3%	58.2%	0.5%																																															
70代【N=215】	30.2%	67.0%	2.8%																																															

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																																				
	⑤スポーツに関する情報について ○京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体は、「広報紙」が66.9%と最も多く、他の項目を大きく上回っています。次いで「回覧板」が32.9%、「ポスター、チラシ、パンフレット」が19.8%などとなっています。 ○前回調査では低かった「インターネット（市ホームページを含む）、SNS」が2倍程度の8.9%と増加しています。 京丹後市のスポーツに関する情報を見聞きしたことがある媒体  <table border="1"> <thead> <tr> <th>媒体</th> <th>平成28年度【N=1672】</th> <th>令和4年度【N=1020】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新聞や雑誌</td> <td>11.8%</td> <td>12.3%</td> </tr> <tr> <td>テレビやラジオ</td> <td>11.2%</td> <td>7.3%</td> </tr> <tr> <td>広報紙（「広報京丹後」・「京丹後おしらせ版」）</td> <td>72.7%</td> <td>66.9%</td> </tr> <tr> <td>回覧板</td> <td>34.5%</td> <td>32.9%</td> </tr> <tr> <td>インターネット（市ホームページを含む）、SNS</td> <td>4.4%</td> <td>8.9%</td> </tr> <tr> <td>ポスター、チラシ、パンフレット</td> <td>22.6%</td> <td>19.8%</td> </tr> <tr> <td>所属クラブ・団体などを通じて</td> <td>5.7%</td> <td>6.7%</td> </tr> <tr> <td>家族や友人・知人から</td> <td>15.6%</td> <td>15.2%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.4%</td> <td>0.3%</td> </tr> <tr> <td>見聞きしたことはない</td> <td>9.1%</td> <td>11.7%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>2.9%</td> <td>2.0%</td> </tr> </tbody> </table>	媒体	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	新聞や雑誌	11.8%	12.3%	テレビやラジオ	11.2%	7.3%	広報紙（「広報京丹後」・「京丹後おしらせ版」）	72.7%	66.9%	回覧板	34.5%	32.9%	インターネット（市ホームページを含む）、SNS	4.4%	8.9%	ポスター、チラシ、パンフレット	22.6%	19.8%	所属クラブ・団体などを通じて	5.7%	6.7%	家族や友人・知人から	15.6%	15.2%	その他	0.4%	0.3%	見聞きしたことはない	9.1%	11.7%	無回答	2.9%	2.0%	
媒体	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																																				
新聞や雑誌	11.8%	12.3%																																				
テレビやラジオ	11.2%	7.3%																																				
広報紙（「広報京丹後」・「京丹後おしらせ版」）	72.7%	66.9%																																				
回覧板	34.5%	32.9%																																				
インターネット（市ホームページを含む）、SNS	4.4%	8.9%																																				
ポスター、チラシ、パンフレット	22.6%	19.8%																																				
所属クラブ・団体などを通じて	5.7%	6.7%																																				
家族や友人・知人から	15.6%	15.2%																																				
その他	0.4%	0.3%																																				
見聞きしたことはない	9.1%	11.7%																																				
無回答	2.9%	2.0%																																				

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
	⑥障害者スポーツの振興について ○障害者スポーツの振興のために必要と思われることは、「障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備」が58.4%と最も多く、次いで「きっかけづくりや仲間づくりのための障害者スポーツ教室の開催」が29.7%、「障害者をサポートするスポーツボランティアの養成」が29.1%、「障害者スポーツ指導者の養成」が29.0%などとなっています。 障害者スポーツの振興のために、必要と思われること 0%20%40%60%80% (MA%) 障害者に配慮したスポーツ施設・設備の整備 (トイレや施設入り口のバリアフリー化等) 58.4% スポーツ施設までの道路、 公共交通機関等アクセス面の整備 25.0% 障害者スポーツ指導者の養成 29.0% 障害者をサポートする スポーツボランティアの養成 29.1% 障害者スポーツの理解促進に向けた 公的教育やイベントの充実 15.4% 障害者スポーツ大会の充実を図るなど スポーツ機会の提供 13.7% きっかけづくりや仲間づくりのための 障害者スポーツ教室の開催 29.7% 障害者が参画できる（参画しやすい） 日常の地域活動の実施 27.5% その他 0.5% わからない 17.9% 無回答 5.1% 【N=1020】	

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等																					
	⑦現在の子どもを取り巻く環境について ○親世代の子ども時代と比較した現在の子どものスポーツ環境については、「どちらかといえば悪くなった」が36.4%と最も多く、次いで「どちらかといえばよかった」が21.0%、「悪くなった」が14.4%などとなっています。 親世代の子ども時代と比較した現在の子どものスポーツ等の環境  <table border="1" data-bbox="1093 368 1848 742"> <thead> <tr> <th>環境の変化</th> <th>平成28年度【N=1672】</th> <th>令和4年度【N=1020】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>よくなった</td> <td>11.1%</td> <td>8.7%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえばよくなった</td> <td>20.2%</td> <td>21.0%</td> </tr> <tr> <td>変わらない</td> <td>10.0%</td> <td>14.0%</td> </tr> <tr> <td>どちらかといえば悪くなった</td> <td>34.0%</td> <td>36.4%</td> </tr> <tr> <td>悪くなった</td> <td>19.0%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>5.7%</td> <td>5.5%</td> </tr> </tbody> </table>	環境の変化	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】	よくなった	11.1%	8.7%	どちらかといえばよくなった	20.2%	21.0%	変わらない	10.0%	14.0%	どちらかといえば悪くなった	34.0%	36.4%	悪くなった	19.0%	14.4%	無回答	5.7%	5.5%	
環境の変化	平成28年度【N=1672】	令和4年度【N=1020】																					
よくなった	11.1%	8.7%																					
どちらかといえばよくなった	20.2%	21.0%																					
変わらない	10.0%	14.0%																					
どちらかといえば悪くなった	34.0%	36.4%																					
悪くなった	19.0%	14.4%																					
無回答	5.7%	5.5%																					

現 行（第2次計画）	改正案（第2次計画見直し）	変更理由等
用語解説	用語解説	